

令和7年度
埼玉県「性に関する指導」
課題解決支援事業 実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

令和8年3月

埼玉県教育委員会

はじめに

近年、加速する社会環境や生活環境の変化は、子供たちの心身の健康に大きな影響を与え、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関連する諸課題、目の健康問題、新たな感染症など、様々な健康課題が生じています。このような健康課題の解決を図るためにも、生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うことを目指した学校における健康教育は重要な役割を担っています。

学校における「性に関する指導」は、児童生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにすることを目的として、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達の段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて行われています。とりわけ、体育科、保健体育科の保健の授業で行われる「性に関する指導」は、健康教育を効果的に推進する上で大変重要です。

本報告書は、埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業における令和7年度の取組の概要や成果等についてまとめております。今年度は、児童生徒を性暴力の加害者にも被害者にも傍観者にもさせない取組である「生命（いのち）の安全教育」と「性に関する指導」を関連させた授業や、外部講師を活用した実践についても検討いたしました。すべての学校において、掲載の指導実践例等を活用していただき、児童生徒の発達の段階を踏まえ、学校全体の共通理解の下、保護者の理解を得ることにも配慮しながら、集団指導と個別指導の連携を効果的に行うなど、「性に関する指導」の充実が図られることを期待します。

結びに、本事業の円滑な推進に御尽力いただきました、「性に関する指導」課題解決検討委員の皆様をはじめ、実践発表、授業研究会等に御協力いただきました、各小中高等学校並びに関係教育委員会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後もなお一層の御指導・御協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年3月

埼玉県教育局県立学校部保健体育課長

荻原 篤大

目 次

I	埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について	
1	事業の趣旨	1
2	事業内容	1
3	実施内容	1
4	事業の成果と課題	3
5	令和8年度の事業予定について	20
II	埼玉県「性に関する指導」指導者研修会	22
III	埼玉県「性に関する指導」授業研究会	49
1	小学校部会 入間市立高倉小学校	50
2	中学校部会 熊谷市立熊谷東中学校	66
3	高等学校部会 県立三郷高等学校	80
IV	埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会	98
1	設置要綱	98
2	委員名簿	100

I 埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について

1 事業の趣旨

- 発達の段階に応じた効果的な「性に関する指導」を推進するために、学識経験者を含めた課題解決検討委員会を立ち上げ、効果的な指導法の研究・普及・実践を行うこと。
- ・課題解決検討委員を講師として、「知識を活用した保健学習—性に関する指導編・感染症編—」及び「保健教育参考資料 なるほど！保健の授業づくり—令和4年度発行—」を活用した指導者研修会及び授業研究会を実施する。
 - ・発達の段階に応じた「性に関する指導」について研究する。
 - ・「性に関する指導」に携わる教員等を指導する指導者養成を兼ねる。

2 事業内容

- (1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会
- (2) 「性に関する指導」指導者研修会
- (3) 「性に関する指導」授業研究会

3 実施内容

(1) 課題解決検討委員会について

- ア 第1回課題解決検討委員会 令和7年6月6日(金) オンライン会議
- ・埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会について
 - ・日程確認、役割(校種別)分担について
 - ・「知識を活用した保健学習—性に関する指導編・感染症編—」及び「保健教育参考資料なるほど！保健の授業づくり—令和4年度発行—」を活用した授業研究会について
 - ・「性に関する指導」指導者研修会について
 - ・「生命の安全教育」と関連した実践例について
- イ 第2回課題解決検討委員会 令和7年8月26日(火) オンライン会議
- ・授業研究会の指導案検討(各部会)
 - ・授業研究会の役割分担(各部会)
- ウ 第3回課題解決検討委員会 令和8年1月27日(火) オンライン会議
- ・事業実施報告(検討委員会、指導者研修会、授業研究会)
 - ・次年度の研究の方向性
 - ・部会別協議

(2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 趣旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

- イ 開催日時 令和7年8月5日(水) 13時20分から16時30分まで

ウ 開催方法 Teamsによるオンライン開催（ライブ配信）

エ 参加対象者

- ・公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（管理職・体育・保健体育科担当教職員・養護教諭・保健主事等）
- ・市町村教育委員会の指導主事

オ 内容

・行政説明

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 指導主事 佐野 秀行

・事例発表

小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」
（ア）体の発育・発達
本庄市教育委員会 指導主事 塩澤美保子

中学校指導事例 第3学年「健康な生活と疾病の予防」
性感染症とその予防
加須市立加須東中学校 教 諭 久保あかね

高等学校指導事例 第1学年「現代社会と健康」
（イ）現代の感染症とその予防
性感染症・エイズとその予防
県立進修館高等学校 教 諭 梨本 雄太

・講演

「学校における性に関する指導の考え方と進め方

～教科等横断的な視点を加えて～

講師 筑波大学体育系 准教授 片岡 千恵 氏

(3) 「性に関する指導」授業研究会

効果的な指導方法の実践研究を行う。

- 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導を行うための指導方法の実践研究
 - ・「性に関する指導」における小・中・高の系統的な保健教育の実践研究を行う。
 - ・発達の段階に応じて、外部講師を活用した指導について研究を行う。

【構造化された授業の提案】

- ・学習内容の明確化（1時間1時間に何を学ばせるのか、何を学んだのかが明らかな授業）
- ・基礎的・基本的な知識の習得と、知識を活用する学習活動の取組
- ・学習内容を主体的に取り組ませるための教材化
- ・主体的・対話的で深い学びの実現

ア 小学校部会授業研究会

令和7年10月31日（金） 入間市立高倉小学校

第4学年「体の発育・発達」（イ）思春期の体の変化

教 諭 田中 絢子

イ 中学校部会授業研究会

令和7年10月22日（水） 熊谷市立熊谷東中学校

第1学年「心身の機能の発達と心の健康」(イ) 生殖に関わる機能の成熟

教諭 今成 友美

外部講師 山崎 麻子

ウ 高等学校部会授業研究会

令和7年11月17日(月) 県立三郷高等学校

第2学年「生涯を通じる健康」(ア) 生涯の各段階における健康

① 結婚生活と健康

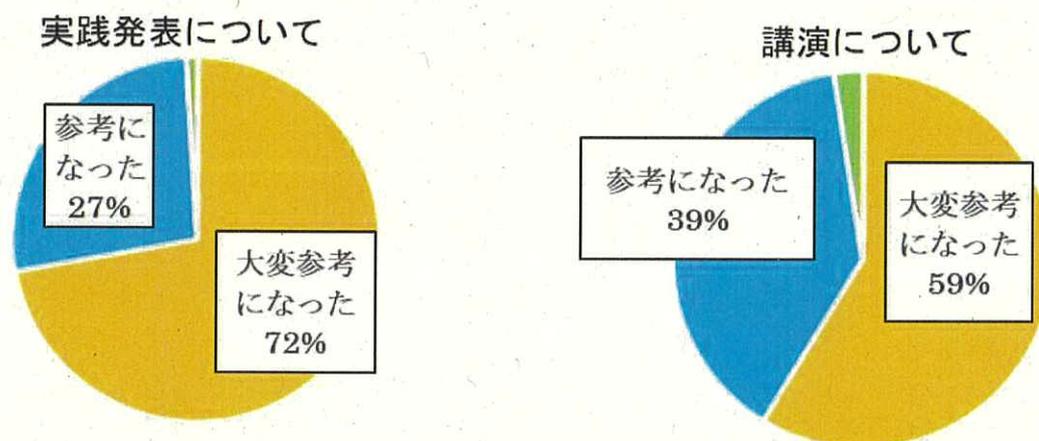
養護教諭 宮尾 仁美

教諭 大澤 詳平

4 事業の成果と課題

(1) 「性に関する指導」指導者研修会について

<参加者アンケートより>



【実践発表について】 ※一部抜粋

- ・授業参加ををするとしても初経精通を扱うところだけなのですが、それ以外の内容での養護教諭としての参加の仕方が大変参考になりました。また他の学校種の実践も知ることができてよかったです。(小学校・養護教諭)
- ・3人の先生方は児童生徒の実態を踏まえ、「自分事として捉えさせたい」という思いを持って臨まれていた。児童生徒がすすすくテープやロールプレイ、学んだことを用紙にまとめる、ディベート等活動を通して学びを深めており、その背景には事前の準備や T.T の打ち合わせに時間をかけて行っているからこそだと感じた。外部指導者を依頼するにあたり、打ち合わせシートは大変勉強になった。今後こちらを参考にさせていただきたい。(小学校・養護教諭)
- ・具体的で授業の流れがわかりやすかった。講師との打ち合わせシートがとてもいいと思ったので、参考にしたいです。(小学校・養護教諭)
- ・小学校の事例で、外部講師による授業や養護教諭の授業で、すすすくテープを使用し個人差を視覚化・体感することができ、自分ごととして捉えることができる内容で、参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・自校とは違う校種の取り組みを知ることができ、小中のつながり系統性についても考えることができた。(小学校・養護教諭)
- ・小中高でそれぞれの実践を聞くことができ、とても参加になりました。特に、小学校の養護教諭の先生の実践発表では、具体的なすすすくテープを使い、成長発達のことや

個人差のことがわかりやすく指導されており、自校での指導に大変参考になるものでした。(小学校・養護教諭)

- ・小、中、高とあらゆる発達の段階の指導方法について知ることができた。特に、中学校の取組では実験を交えて伝えていくことで子どもたちの印象にも残りやすく参考にしたいと思った。(小学校・養護教諭)
- ・中学校、高校の実践もみることができ、系統的な学習を意識することができた。(小学校・養護教諭)
- ・小学校の指導事例で、すくすくテープの作成と活用により、発育を可視化することで発育への肯定的な気持ちを育てていると学びました。二学期に授業するときには実践してみたいと思います。(小学校・養護教諭)
- ・各校種とも「自分事としてとらえる」ということをベースに、授業を展開されていて児童生徒の思考を大切にされているのがわかりました。また、小学校の研究授業は実際に参観させていただいたので、当日の授業を振り返るとともに、その後の外部講師の活用の授業の流れまでお聞きすることができてよかったです。(小学校・養護教諭)
- ・ちょうど1学期に、小学校の実践発表と同じ4年生の「体の発育・発達」の1時間目の授業を行いました。ICTを活用する場面がなく、今どきの授業になっていたかな?と不安になっていましたが、実践発表内の、伸び率のリボンでICTを使用することを聞いて、実践してみようと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・すくすくテープや、じゃんけん水取りゲームなど、子どもたちが楽しみながら、自分事として、考えるきっかけになると感じました。また、保護者にもアンケートを取ることで、保護者の思いも知ることができ、家庭と一緒に進めていけると感じました。(小学校・養護教諭)
- ・どのような点に留意して授業づくりを行ったのか等授業そのものだけではなく授業づくりについても学ぶことができた。性に関する指導では、伝えたいことが多く教師主体の授業になってしまいがちであったが、本研修において子どもたちに授業で取り扱った内容を実感させる・体感させる授業の方法について知見を得ることができ、次回以降の授業に取り入れたいと感じた。(小学校・養護教諭)
- ・ICTの活用の仕方や講師との打ち合わせ内容など、即参考にできる資料をたくさん提示していただけたことや、動画で授業の様子を見せていただけたのも子どもの反応がわかって大変参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・各校種の実践事例、性に関する指導についての理解が深まりました。そして、校種で連携して指導する事も大切であるとあらためて感じました。(小学校・養護教諭)
- ・小学校の実践が担任と養護教諭のTTだったので、大変参考になった。(小学校・養護教諭)
- ・性に関する指導について、具体的な指導内容や教材がわかりやすく提示されており、大変参考になりました。また、それぞれの課題についても挙げられており、自校で授業を展開していくにはどのようにすればよいか考えるきっかけとなりました。(小学校・養護教諭)
- ・本校でも保健の授業後に外部講師を活用し、より専門的なお話をさせていただこうと考えております。なかなか授業実践をみる機会もないため、参考にさせていただきます。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・どれも実践的で興味深い内容のものばかりでした。特に塩澤先生の実践報告は、歴史ある小規模校の養護教諭という点で共感できる部分が多く、大きな学びとなりました。担任と養護教諭の互いの専門性を生かした授業展開や、外部講師を招いた教科等横断的な授業計画など、参考になる内容ばかりでした。(小学校・養護教諭)
- ・授業実践を見ることで授業の進め方をイメージすることが出来ました。授業内で使用し

ている資料や児童の感想を見たり、「ここは〇〇にしようか迷った」などのお話を聞くことで資料の工夫や授業の進め方も児童の実態に合わせて決めていくことが大切なのだと思います。また、中学校、高校の授業実践を見ることで小学校での学習がどのようにつながっていくのか理解することが出来、性に関する指導は生きることと人権に関わることだと実感しました。校内や保護者との共通理解を図りながら外部講師も活用していると思いました。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)

- ・各校種によって指導する内容の違いや、具体的な実践内容がわかり、自校で実施する際にも参考にできると感じた。また、現在は小学校勤務だが、中高での勤務となった時に、どのようなことを指導していくかについてもわかりやすかった。(小学校・養護教諭)
- ・小学校に勤務しているため、自分の体の変化を身長からとらえ、個人差があることを視覚的に学び、違いを肯定的に受け入れる学習の仕方がとても参考になった。(小学校・養護教諭)
- ・藤田小の授業公開を見せていただいたので、あの時の子どもたちと塩澤先生、担任の先生との暖かな授業風景を思い出しました。外部講師の方との事前打ち合わせなど参考になりました。
- ・小・中・高のそれぞれの事例を聞かせていただけたことで、自分の所属校種はもちろん、それ以外の校種の性指導についても学ぶことができた。実際の児童生徒の反応や感想も見ることができ、イメージがしやすく、今後行う指導に生かしやすいつと感じた。(小学校・養護教諭)
- ・実際に養護教諭として、担任とどのようにTTをしたか、使用した教材や役割分担などが具体的に分かったため、とても学びになった。視覚化したり体験することが主体的な学習のポイントだと感じた。外部講師を活用する際には、打ち合わせシートを用意することが講師と教員の安心につながると分かった。また、3つの校種の事例発表があったことで各発達段階に応じた適切な指導内容を理解することができた。緊張をほぐしたり、楽しく体験的に学ぶために実験が良い方法だが、薬品を扱う際には安全性に十分注意して、子供に持たせるか、教員が持つかよく考えたいと思った。性の指導は教員の役割だけでなく、保護者の役割も大切だと分かった。家庭からの指導もお願いできるよう、どこまで教えるのか明確化させたいと思った。高等学校事例のディベートでは、高校生という発達段階に適していて、自分たちで理解を深められていると感じた。80字で書取りをする活動も、自分の考えを言語化する力になってとても良いと思った。(小学校・養護教諭)
- ・教科等横断的な授業について、実践的な指導を学ぶことができたため。また、系統的な発達段階に応じた指導方法を知ることができたため。(小学校・養護教諭)
- ・性教育について、今ネットなどで簡単に情報が得られる今、正しい情報を伝えることに困難感があったが、今回の事例は実践しやすいつと感じたため。(小学校・養護教諭)
- ・小学校や高校での取組を知ることにより、系統や段階を意識した学習に取り組めると感じたから。また、発問や授業内容、資料など授業改善の参考になりました。(中学校・教諭)
- ・授業に向けて、いつからアンケートを取ったり、誰と連携を取ったり、子どもの反応などがわかった。(中学校・養護教諭)
- ・各校種の実践発表が参考になりました。発達段階で教えるべきこと、小学校から系統立てて指導する事が大切だと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・具体的かつ大変実践がわかりやすいご発表でした。指導案を作り上げるまでの課題把握から保護者への事前調査等、授業実施に至るまでのプロセスも大変よくわかりました。課題に対応した授業実践の在り方について深く学ぶことができました。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)

- ・児童生徒へ自分事として捉えられるような指導を常に心がけなくてはならないと改めて感じたため。授業後は、児童生徒の理解度や伝えたい内容が伝わったかどうかきちんと確認する必要があることも大事であるため、自身の研修と修養にさらに努める必要性を感じた。(中学校・養護教諭)
- ・小中高それぞれの実践が、本校の活動に生かせる内容だと思ったため。特に、性の指導でディベートを取り入れていることに驚きました。生徒さんの様子を見て、本校でも生徒の声を聞いてみたいと感じました。(中学校・養護教諭)
- ・実践的な授業の進め方を知ることができて、大変勉強になった。ICTも活用するすすくテープがすごく面白く、やってみたくなった。(中学校・養護教諭)
- ・先生方の資料がとても見やすくわかりやすかったので、参考にさせていただきたいと思いました。また、意識していることやなかなかできないディベートという学習形態にとっても魅力を感じました。(中学校・教諭)
- ・小中高での実践発表が聞けて系統的な取り組みを考えることができました。特に中学校と高等学校は受けた教育の差が大きいと思うので内容も考えなくてはと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・性に関する指導について具体的な授業案が少ないため、校種別に実践例を学ぶことができて大変勉強になりました。各校で子どもの様子や背景が違うため、自校でアレンジして保健教育に活かしていきたいです。(中学校・養護教諭)
- ・本校は外部指導者に性に関する指導を行ってもらっています。今まで、打ち合わせシートのようなものを使って打ち合わせを行っていなかったため、参考にさせていただきたいと思います。(中学校・養護教諭)
- ・中学校で視覚で感染症の広がりや伝え、自分が知らない間にもらう事がある事を教えていたところが生徒の関心が引きつけられたと思った。(中学校・養護教諭)
- ・他の学校での実践はなかなか見る機会がないため、詳しく授業の流れやそこにいくまでに何をするか等教えていただけて、大変勉強になりました。(中学校・養護教諭)
- ・実践発表を通して、小・中・高それぞれの発達段階に応じた授業づくりが丁寧に工夫されていることに感心した。一見、異なる内容に見えても、どの授業にも共通して保健教育の根底にある「自分を大切に育てる」視点や、系統的な学びの流れが通っていると感じた。こうした一貫性が、子どもたちの成長に寄り添いながら確かな学びにつながっていくのだと思った。小学校の実践では、「実践的に」という言葉を「自分ごととしてとらえる」ことに重点が置かれていた点が印象的だった。中でも「すすくテープ」という教材は、楽しみながら発育・発達への理解を深められる工夫がされており、小学生の発達段階に合った効果的なアプローチだと感じた。また、その後外部講師を招いて専門的な話を聞く流れも、学びを深めるうえで有効だと思った。特に、最初に「楽しい」という感情を通して関心を高め、そのあとで専門性や記憶の定着につなげる構成がよく考えられていた。中学校の実践では、「科学的に学ぶ」という観点で感染症を取り上げた授業が印象に残った。視覚的な資料を多用することで、生徒たちの理解が深まりやすくなっており、また、自分で調べてまとめる活動を通して、主体的な学びや課題解決能力も育まれる構成になっていた。感染症というテーマをきっかけに、生活と結びついた学びを広げていける点も魅力的だった。高校の実践では、ディベート形式の授業が印象的だった。単に意見を言い合うのではなく、「性感染症は治るのか」「2人の将来設計はどう考えるか」など、より具体的で現実的な問いが設定されていた。これは単なる知識の伝達にとどまらず、「何を学ばせたいのか」というねらいが明確にあり、生徒一人ひとりが自分の価値観や生き方と向き合う機会になっていたと思う。それぞれの発表を通して、保健教育のあり方や授業構成の工夫、発達段階に応じた内容設定の重要性を学ぶことができた。自校での実践に活かせるよう、自分自身の指導の軸やねらいも改めて見

直していきたい。(中学校・養護教諭)

- ・それぞれの発達段階に合わせた指導内容となっておりたいへん参考になりました。特に養護教諭としての立場からどのように授業に参加したら良いのか迷っていましたが、今回の発表で成長グラフの活用等専門的な立場から指導することの大切さを学ばせていただきました。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
- ・高等学校の授業実践について、一方的に知識を教えるのではなく、ディベートという形式で生徒が主体的に学びを深める事例であり、大変参考になった。(高等学校・養護教諭)
- ・性教育は自分事として捉えてほしい内容ですが、なかなかそれが難しく(恥ずかしい、自分には関係ない)と思ってしまうがちだと感じています。そのような現状がある中で、今回お話をしてくださった3名の先生方は、さまざまな工夫をし、子どもたちが自分事と捉えられたり体験を通して学びが身についたりして今後もし授業をするとなったときに取り入れたいものばかりでした。(高等学校・養護教諭)
- ・どの発達段階の子どもに、どんな意図でどのような指導をしたのかがとても勉強になりました。私は現在高等学校に勤めていますが、今後校種が変わったときの参考にもなりましたし、今接している生徒がどのような指導を受けてきたのかを想像することができました。(高等学校・養護教諭)
- ・授業の内容を自分事として捉えさせる工夫や、外部講師の活用における課題点など、子供たちの実態が異なるのでそのままは使えなくても、発想の参考になる内容だと感じた。(高等学校・養護教諭)
- ・普段授業を担当しない立場だとどうしても、学習指導要領の内容を授業として展開するイメージがわからず苦手意識を抱きがちになっていましたが、実際の授業の様子や子供の反応、ワークシートの使い方等を拝見できてとても参考になりました。また、本校は高校ですが様々な生徒が在籍しているため、他の校種での取り組み内容についても参考になりました。(高等学校・養護教諭)
- ・小学校における性に関する指導では、「自分事」として捉えられるような実践的な授業が展開されており、大変参考になりました。導入では、児童にとって身近な存在である教員を登場させることで関心を引き、自然な形で授業に引き込む工夫がされていました。また、「すくすくテープ」による身長伸びの可視化は、児童が自分の体の発育を実感し、自分自身の成長を肯定的に捉える上で有効的であると感じました。さらに、そのテープをもとに作成したグラフを全体で共有することで、「成長には個人差がある」ということを視覚的に理解し、他者と比較するのではなく自分らしい成長を認める姿勢につながっていた点が印象的でした。また、得た知識を活用するロールプレイングでは、悩みに対する助言を考える活動を通して、学びを実生活に生かすための工夫がされていて、児童の学びを深めていると感じました。さらに、外部講師との事前打ち合わせに使用していた「打ち合わせシート」は、講師との打ち合わせをスムーズに行う上で非常に有効的で、聞き漏らしも防げるため、本校でもぜひ活用していきたいと思いました。中学校第3学年の「健康な生活と疾病の予防」における授業実践では、生徒が性感染症を「自分事」として捉えられるよう、さまざまな工夫がされていました。特に印象に残ったのは、導入として行われた「じゃんけん水取りゲーム」です。この活動は、薬品のため配慮は必要ですが、感染がどのように広がっていくのかを視覚的に体験できるため、生徒の関心を引き、性行動における感染リスクについて深く考えるきっかけになっていたと思います。また、性感染症についてグループで調べ、まとめ、発表する活動を通して、生徒たちが主体的に学び、協働しながら知識を深めていくことで、知識と態度の両面で学びが深まっていると感じました。さらに、進修館高校の実践発表からは、「性に関する指導」の在り方に対する先生方の熱意と工夫がとても伝わってきました。特に印象的だったのは、ディベート形式で授業を展開していた点です。生徒たちが自らの意見を述べ、他者

と対話を重ねることで、自分の価値観を見つめ直し、深めることにつながっていると思いました。性感染症やエイズといったデリケートなテーマに対しても、具体的なストーリー設定を通じて生徒が自分事として考えられるような工夫がされており、印象的でした。また、生徒と保護者の双方に事前アンケートを実施し、それを授業内容に反映させている点も家庭との連携を図ることの大切さを実感しました。「性」というデリケートなテーマですが、授業の中で、自分の在り方や他者との関係性について真剣に考える時間は、生徒にとって重要であると改めて実感しました。生徒たちが楽しみながらも真剣に取り組める授業をつくるためには、丁寧な準備と、生徒の思考を促す問いが重要になってくると感じました。(高等学校・養護教諭)

- ・各校種での取り組みや、児童生徒が自分のこととして捉えるための具体的な実践例を知ることができ、大変参考になりました。ねらいを明確にし、それを達成するための手段や方法を検討していきたいと思えます。(特別支援学校・教諭)
- ・様々な授業実践例を見ることができて、大変参考になった。特別支援学校での実践となるとまだまだ課題も多いのではないかと感じた。(特別支援学校・養護教諭)
- ・通常学校の実践でしたが、かみ砕けば特別支援学校でも出来そうなものがありました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・他校種の実践を学ぶことができ、自校の特別支援学校ではどう実践していくか考えることができた。(特別支援学校・養護教諭)
- ・通常学校の先生方や指導主事の方から、教員の目線からの指導事例を聞くことが初めてであり、内容も分かりやすくまとめられていて今後、本校でも実践していきたいと感じることができた。(特別支援学校・教諭)
- ・各校の実践をうかがうことができ、校種によって教科での指導のポイントや具体的な配慮事項、授業の様子などを見ることができたのが勉強になりました。特別支援学校の事例もうかがうことができるとさらに嬉しいです。(特別支援学校・養護教諭)
- ・実態把握のためのアンケートを行うことや、知識を問うだけではなく得た知識をどのように活用するかをねらいとした活動など、実際に授業をするにあたって参考になる部分が多くあったため。(特別支援学校・養護教諭)
- ・各先生方、ありがとうございました。実態をもとに指導計画を立て、実践を行う中での児童生徒の様子から課題を見出し、本発表でご説明いただいたことで、各発達段階での性に関する指導について、具体的にイメージすることができました。(市町村教育委員会・指導主事)
- ・生命の安全教育をより充実させていくために、本日発表いただいた学校では、どのような視点や指導方法の工夫がされているかを知ることができ、参考となる部分があった。(市町村教育委員会・指導主事)
- ・保健の授業における「性に関する指導」の内容の取り扱い方や教材作成について、生きた事例を伺えたことは何よりの財産になりました。また、県立学校での内容の取扱いについて映像で見ることができ、非常に参考になりました。(市町村教育委員会・指導主事)

【講演について】 ※一部抜粋

- ・性に関する指導の考え方について、様々な角度から各校種に分けて説明してくださり参考になりました。教えること、考えることなど性に関する指導ではなく、教育の本質のお話も聞くことができ良かったです。片岡先生が、保健体育科教師に性に関する指導の意欲を調査された結果の報告や助言もあり、他の教員の気持ちや片岡先生の励ましが嬉しいと感じました。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・性に関する指導について教科としての指導のあり方、教科外での指導の役割を具体的に教えていただき大変勉強になった。自分にとっての教科としてのあり方や教科外として、

- 性に関する指導において大切なことについて信念をもって指導できるよう日々勉強していきたい。(小学校・養護教諭)
- ・学習指導要領の考え方の理解の大切さを再確認できた。養護教諭なので、個別指導について進め方がとても勉強になった。日本学校保健会のホームページなどもっと活用しようと思いました。今日の資料をゆっくり読み直したいと思います。(小学校・養護教諭)
 - ・保健の見方・考え方を働かせる3ステップを理解することができました。また、一人一人の発達や特性に応じた個別指導を充実させていくことが重要だと感じました。(小学校・養護教諭)
 - ・同じ指導要領でも、教える側によって子供への伝え方が違うことを改めて認識し、深く理解することと性に関する指導の重要性を確認できました。時間が足りなかったのが残念でした。(小学校・養護教諭)
 - ・発問の重要性を考えさせられ、児童の思考にそった発問にしたいと思います。指導要領の性に関する部分の歯止め規定の意味も理解できました。学習指導要領から感動が生まれるように、奏でられる指導者になりたいです。(小学校・養護教諭)
 - ・授業づくりをしていく上での押さえるべき事や、学習指導要領の捉え方をよりわかりやすく提示していただきました。また発問の大切さや授業の組み立て方を的確にお話ししていただきました。(小学校・養護教諭)
 - ・子供が考えなくなる発問を工夫されているというお話を伺い、自分の授業について振り返る機会となりました。担任や外部講師と連携した保健の授業のやり方を学ぶことができました。(小学校・養護教諭)
 - ・教科としての保健では学習指導要領の読み込みが重要であることと、目的、目標、プロセスを意識した授業づくりが大切であることがわかりました。また、質問、発問の比較についても参考になりました。児童生徒が課題を自分事としてとらえ、思考の深まりから意思決定・行動選択に向かうことが重要なのだとわかりました。(小学校・養護教諭)
 - ・校内や市内の研修では他教科の授業を拝見することが多く、他教科での授業研修からの学びを保健にどう生かしたら良いか悩んでいたが、講演により、保健の授業づくりのポイントや発問の工夫等基礎基本の内容含め多くの学びを得られたため。早速2学期以降の保健の授業で取り入れたいと思った。(小学校・養護教諭)
 - ・発問の仕方はいつも悩んでいたのも、どのような考えで作成すれば良いかわかり、大変参考になりました。(小学校・養護教諭)
 - ・教科としての「保健」、特活としての「保健」の見方、組み立て方、考え方について参考になりました。また、「発問」と「質問」の違いについても勉強になりました。(小学校・養護教諭)
 - ・はじめて規定の捉え方についての部分で、「全員にではなく個別に」指導することを強調されていたことが印象的です。性についての理解や意識が一人ひとり違うからこそ、そこを教員がどこまで正確に把握できるのか不安です。全員を対象に個別指導することが時間的にもできないため、あまり目立たない子や発信することが苦手な子は、個別指導から漏れてしまう子もいるのではないかと感じました。(小学校・養護教諭)
 - ・7月に4年生の保健の授業に携わったため、大変勉強になりました。日本学校保健会の中で、授業モデルが掲載されていることも知らなかったため、今後の参考にさせていただこうと思います。また、養護教諭として児童への集団指導と個別指導の大切さを私自身が理解して2学期以降に本校の児童へ還元できたらと思います。(小学校・養護教諭)
 - ・性に関する指導を教科的にとらえる意義を一から教えていただき学びとなりました。また、実践的な参考資料も多く、私が性に関する指導をしていく指針を多く見つけることができました。(小学校・養護教諭)
 - ・教育は知識の伝達ではなく包括的な人間育成である、という言葉が印象に残りました。

「教えて育てる」の字の通りに、子どもの生きる力を育てていくことが意義であると学びました。AIが活躍する今、様々な情報や意見をまとめて自分の意見を作り出す力を育てるために発問が重要であること、教師自身が授業方法について学び続ける重要性を実感しました。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)

- ・性に関する指導を実施する際には、学習指導要領を読み込み、何を伝えたいか、何を教えたいかを明確にし、学校教育全体を通して計画を立てることが大切だと思いました。又、児童の発達段階や実態に考慮して実施することが大切だし、養護教諭だけではなく、全ての教員が実施できるよう計画を立てる必要があると思いました。(小学校・養護教諭)
- ・性に関する指導を学校全体で取り組んでいくことの重要さを改めて痛感しました。児童生徒の発達段階を踏まえて、系統的に、そして教科横断的に行うことが大切であること。そして集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うことの大切を学びました。子どもたちの生きる力を育むこと、子どもたちの心身の調和的発達、人格の完成や豊かな人間形成、子どもが自分自身と他者を大切にする価値観などを育てるために学校全体で共通理解を図りながら家庭地域と連携を推進して、性に関する指導を充実させていきたいです。生命の安全教育も取り組んでいきたいです。本日、学ばせていただいたことを今後の教育活動に生かしていきます。本日は、丁寧なご指導をありがとうございます。(小学校・養護教諭)
- ・質問は知ってることを問うことであり、思考を促す問いが発問と聞き、なるほどと思いました。発問を、なぜを問うことを意識したいです。(小学校・養護教諭)
- ・保健の授業や指導の目標が、正しい知識を覚えるだけでなく、心身の健康のために考え行動する子供を育てることであると再認識した。また、授業実践の参考になるサイト等を知ることができた。(小学校・養護教諭)
- ・性に関する指導について、基本の部分から見直すことができた。性に関する指導は、「性を学ぶ」と「性を通して学ぶ」ことの二つの面があるというお話が印象的でした。集団指導と個別指導の使い分け、外部講師の専門性についても参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・教師を演奏家に例えた表現が分かりやすかった。楽譜(学習指導要領)をそのまま教えるのではなく、演奏(授業)を通じて子供達の力を育んでいきたいという意欲を高められた。学習指導要領やその他数多くの資料から、理論的に説明していただけたことで、前半の事例発表に加えて科学的な面からも理解することができた。悩んでいる友達にどのような言葉をかけてあげたいか考えてみようという活動は、自分が授業することになったら取り入れたいと思った。性に関することは話題にしにくい障壁を解消するために、架空の事例で考えたり、ICTを活用して匿名で意見を共有したり、グラウンドルールをしっかりと明示すると良いことなどがとても参考になった。個別指導の具体例があったことで、このような実態があるのだと知ることができたとともに、その時の適切な指導内容が分かった。(小学校・養護教諭)
- ・性に関する指導は児童生徒に対しての発問が難しく、これは聞いていいのかな、と思うこともあったのですが、発問の仕方の具体的な説明があり、とても参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・4年生の保健学習について、二次性徴を自分事として捉えられるように、自主的・実践的な内容の検討をしていますが、第3時の初経・精通のところはどうしても知識を伝える内容が多くなってしまふことが悩みでした。ご講演の中で教えていただいた、ポータルサイトの教材コンテンツなどを利用して、今後の授業内容を考えていきたいと思ひます。また、「はどめ規定」の捉え方がよくわかりました。外部講師にも適応するとのことなので、気を付けて打ち合わせをしていきたいと思ひました。(小学校・養護教諭)
- ・性教育の指導を行うに当たって、はどめ規定という部分により指導内容を迷ってしまう

ことがあった。しかし、近年、子供たちの SNS 普及や性暴力による被害の実態から、子供たちに正しい知識を理解させ、正しい行動に繋げることができるよう指導することは重要であると改めて感じている。勤務していた学校でも、実態に合わせて様々な性教育の個別指導が必要とされてきた。しかし、そのような事態になる前に保健教育で子供たちが悲しい思いをせずに、一人一人が自分ごととして捉え、自分も他者も大切にできるような人生を歩んでいけるよう【教えて】いきたい。今回の講演で、学習指導要領という楽譜から、子供たちの心をゆさぶることができる演奏者になれるよう、教師として日々学び続けていく。(小学校・養護教諭)

- ・性に関する教育とは正しい知識などの「性を学ぶ」だけでなく、生命の大切さなど「性を通して学ぶ」ということもあると学べたため。また、発問は質問とは違うということのを例から学べたため。(小学校・養護教諭)
- ・いつもどのように性教育を実施するか悩んでいました。今回の研修で計画を立てる上でのポイントや実際の授業が見れる教材コンテンツも教えていただけて大変ありがたいです。(小学校・養護教諭)
- ・指導の根幹としての、「自分も他者も大切にすること」がよくわかった。生命の安全教育が性教育にも含まれることがわかり、大変参考になった。今後、本校でも人権教育の中の性教育として実践していきたい。(小学校・養護教諭)
- ・授業を組み立てる際、学習指導要領をどのように読み取るのか、発問の仕方について、性に関する指導にとどまらず今後授業を展開していく方法を細かく学ぶことができました。ありがとうございました。大変勉強になりました。(中学校・教諭)
- ・学習で得た知識から自分自身の体や実際の生活場面に起こり得ることとして考えられるようにできるまでを考えて、指導方法を検討していかなければと考えさせられました。(中学校・養護教諭)
- ・性に関する指導を、保健教育としてどのように関わりを持つか、集団指導や個別指導を含め改めて学ぶことができました。(中学校・養護教諭)
- ・性教育を行う上での心構えや、教育とはについて原点に戻って学ぶことができたから。落とし穴は自分も陥っているので、気を付けたい。(中学校・養護教諭)
- ・様々な根拠をあげて下さりながら、教科としての保健をどのようにとらえるのか、考えるのか、深く考える機会となりました。様々な事例を取り上げていただきながらのご講義でわかりやすかったです。(中学校・養護教諭)
- ・「はどめ規定」について疑問を感じている教員が多いと思います。本校でも同じです。私自身、他の職員へ説明できるよう今後も追及していきたいと思います。今回の研修で確信が持てました。(中学校・養護教諭)
- ・生命の安全教育で「性暴力は同意のない性的な言動すべて」と被害を説明する上で、教科では集団指導しない性交をどのように説明し身を守る手段を示すのかを考えながら聞きました。(中学校・養護教諭)
- ・性に関する指導の根本となる部分を大切に全てにつながりがあると、意識して日々の教育活動にあたりたいと思いました。はどめ規定に関しては、管理職の先生方とも共通認識を持って実践に繋がりたいと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・自校の性に関する指導は、全学年、外部講師の方と相談しながら行っていますが、お話の中で「授業計画は学校内でしなくてはならない」と聞いて、今までやってきた企画・提案が不十分だったなと反省しました。何を目的とするのか、より具体的な考えをもって性に関する指導について、今後考えていきたいと思います。(中学校・養護教諭)
- ・多くの資料を活用させていただきます。授業とは何か、発問とは何か、考えられる生徒の育成とはどうすれば良いのか、改めて考えます。(中学校・養護教諭)
- ・学習指導を行う上で大切な事項を再確認できました。先生の高校での授業についてのお

話や特活の授業事例（宿泊学習の事例）の紹介から学びがありました。学校での実践に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

- ・授業づくりに関して、養護教諭の立場からだど苦手意識があったため。以前、保健の教育実習のために高校に行ったが、その際もやはり発問に苦戦した記憶があった。本日お話いただいたように、生徒に答えを求めるような「質問」ではなく、生徒の興味関心を引けるような「発問」ができるようになりたいと思った。そして、養護教諭の立場から保健教育を求められた際や、自身が必要性を感じた際に、効果的で面白い授業ができるようにしたい。(中学校・養護教諭)
- ・目標、目的、そのためのプロセスをしっかりと理解し、教える側が何を教えたいのかを明確にしないといけないなと思いました。発問とはそういう意味ではもとても重要だと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・学習指導要領について、授業を担当しない養護教諭として曖昧になっていた部分を改めて見直し、保健教育を教科的な視点で捉える基盤を得ることができた。質問と発問の違い、子供に理解させたいことの本質、そしてその理由に立ち返って発問を組み立てるといった視点は、授業づくりにおいて非常に実践的だった。養護教諭1年目として、実践経験の乏しさや子供の発達段階への理解の浅さ、指導の軸の不確定さに不安を感じていたが、「子供にどう行動させるか」よりも、「どのような態度で、どんなメッセージを発するか」が子供に与える影響の大きさという言葉が特に印象に残った。今後は、集団指導の場だけでなく、保健室での個別の関わりを通して、その子に応じたフォローを行い、養護教諭という立場を生かした保健教育の充実を目指していきたい。(中学校・養護教諭)
- ・片岡先生の学校における性に関する指導の考え方と進め方として、学習指導要領に則した指導助言を聞き、はじめて規定について学ばせていただきました。養護教諭として授業に携わる際に意識した指導を行いたいと思いました。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
- ・発問、コーチングなど授業を行う上でのポイントについて解説していただき、参考になった。授業と個別指導の関連についても今後意識して、保健室経営を行いたい。(高等学校・養護教諭)
- ・教育とは何かから性教育、性暴力の話まで広範囲でご講演いただきました。時間に限りがあり大変残念でしたが、養護教諭の特色等も触れていただき、自分の立場や役割を明確に考えることができました。(高等学校・養護教諭)
- ・「教科としての」性に関する指導のあり方は、今まで養護教諭としてかかわる機会がなかったので、再度講演を通して勉強することができました。また、教科外での性に関する指導では、養護教諭としてできることが多くあります。講演を通して、個別指導でも集団指導でも、子どもたちが正しい知識を学び自ら意思決定・行動選択できるようにするために、学校や生徒の状況に合わせた取組や内容を実施することが重要だと改めて感じました。(高等学校・養護教諭)
- ・性教育はイコールでセンシティブだと思っていて、積極的に指導してよいものかわからないでいました。外部講師での効果もあるとのことでしたが、片岡先生のケーススタディの内容や、ロイロノートで匿名性が保てるということなど知ることができて、今後、ティームティーチングで授業参画する際にとっても参考になる点だなと思いました。(高等学校・養護教諭)
- ・今年度すでに外部講師を活用した性教育講演会を実施しましたが、釈然としない思いがあったため次年度に向けての検討をする上で素晴らしいヒントになると感じました。何を教えたいか、ただ教えるだけではなく、自ら思考する力を身に着けさせるにはどうすればよいかをクリアにした後に、がん教育のガイドラインや、「なるほど！」等を参考にしながら打ち合わせを行い、より自校の実態に合った形で目的に即した講演会を実施で

きるよう取り組みたいと感じました。(高等学校・養護教諭)

- ・講演の中で特に心に残ったのは、「演奏≒教育」「演奏家≒教師」という考え方です。学習指導要領は「楽譜」であり、それらを魅力的な「演奏」として児童生徒に届けるためには、教師の信念と工夫が不可欠であるという視点に、教育の本質を感じました。また、授業においては、自分事としてとらえられるような「発問」が大切であることも学びました。性に関する内容は、プライベートでデリケートな話題であるため、対話的な学びが難しいとされています。しかし、そうした障壁を乗り越えるためには、ケーススタディの活用や、ICTを活用して匿名で意見を共有する工夫、またグラウンドルールの設定などが重要であることを実感しました。加えて、現行の学習指導要領における「…の事項は扱わないものとする」とされている、いわゆる「はどめ規定」についても、今回の講演を通して理解が深まりました。これまでは「教えるはいけない」という趣旨だと誤解していましたが、実際には「全ての児童生徒に共通に指導すべき事項ではない」という意味であり、個々の児童生徒の状況に応じた個別指導で対応するという趣旨であることを初めて知り、指導にあたる教職員間で共通認識を持つことが重要であると学びました。私は中学校に勤務していた際、3年生に対して性に関する授業を行った経験がありますが、授業の前にはしっかり伝えられるかという不安があり、授業後も「これでよかったのか」と自問することがありました。しかし、今回の講演で「行動よりも、どのような態度でどのようなメッセージを発するかが子どもにより大きな影響を与える」という言葉を聞き、教師が信念を持って伝えることで、生徒には必ず伝わるのだと勇気ももらいました。現在、私は高等学校に勤務しており、保健の授業を担当する機会はありませんが、性に関する指導は全体への授業だけではありません。日々の学校生活の中で、生徒が悩みを抱えて相談してきたときには、その状況に応じて適切な対応ができるよう努めたいと思います。性に関する指導は、生徒や保護者、そして教職員との信頼関係のもとに成り立つものです。だからこそ、日常の関わりを大切に、丁寧に向き合っていきたいと強く思いました。性に関する指導は、デリケートで慎重な対応が求められる一方で、今の時代に必要な学びであると感じています。だからこそ、私自身も学び続ける姿勢を持ち、信頼される存在として、生徒に安心して向き合ってもらえるよう、日々努力していきたいと思っています。
- ・教師の役割の重要性や教科としての保健で目指すものの説明がとてもわかりやすかったです。行政説明でもあった個別指導の考え方、進め方ということが今後一層必要になってくるのではと思いました。性暴力の被害と例示も具体的でわかりやすかったです。また、なぜ性暴力が起きるのかという背景や、人権・相手と対等な関係を築くことなども学ぶことができました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・授業をつくる時に、人権を基盤にすることをずっと伝える事を考えさせられました。性を学ぶ、性を通して学ぶを支援学校なりに考えていきたいと思った。(特別支援学校・教諭)
- ・たくさんの参考資料や保健の見方・考え方を働かせるステップが大変参考になりました。しかしまだ特別支援学校での事例は多くないということで、特別支援学校での取り組みにおいては、自校の児童生徒の実態に応じて組織的に共通意識をもって性に関する指導の計画を立てたり、グルーピングする中で授業を行う必要があることを再確認することができました。(特別支援学校・教諭)
- ・小学校から高等学校、特別支援学校と幅広い校種を対象に分かりやすく内容をまとめた。また、学習指導要領や学校保健ポータルサイトからの授業実践例を途中に入れ、今後の授業づくりに繋げてくこともできると感じた。(特別支援学校・教諭)
- ・教科として位置づけられた保健教育と教科外での保健教育の違いについて学ぶことができた。対話的な学びの難しさを解決するためのポイントや具体的なケースについても見

ることができてよかった。(特別支援学校・養護教諭)

- ・教科横断的な視点で性教育を行っていくことにより、12年間のカリキュラムの中で、性に関する知識を高めるとともに、自他を思いやる意識を醸成していくことの重要性がわかりました。(市町村委員会・指導主事)
- ・性に関する指導においても、根拠である学習指導要領に基づいて指導を計画することで、どのような立場の教員も、毅然とした態度で授業を行えることをお示しいただいたと思います。そのため、授業計画の作り方としての教師の目線と児童生徒の目線を整理して考えることができたました。(市町村委員会・指導主事)
- ・特に、「性に関する指導」とは性を学ぶ、性を通して学ぶという言葉が印象に残った。性の多様性を指導していく上でも先生方にも伝えていきたいと思った。(市町村委員会・指導主事)
- ・「性に関する指導」を通して、「すべての人の価値を大切にする」という価値観に共感を持ちました。「性に関する指導」のみならず広く「教育」に関わるお話は、他の教科にも通ずる話も多く、勉強になりました。(市町村委員会・指導主事)
- ・集団指導における指導のポイントや発問の工夫をご提示いただき、イメージしやすく学校でも取り入れやすく大変参考になった。また、学校では集団指導だけでなく個別指導も非常に重要な中で、なかなか個別指導について講義を受ける機会が少ないと感じるが、個別指導についても御講義いただいたことは大変参考になった。(保健)教育のキーポイントは大変大切なポイントであり、経験の浅い養護教諭への指導の際の参考にしたいと感じた。(市町村委員会・指導主事)

【生命(いのち)の安全教育について】

○「生命(いのち)の安全教育」を実施していますか？

自校(教育委員会)の現状(複数回答可)	人数(人)
実施している	89
今後実施する予定である	44
実施していない	36
現在授業を行う立場ではない	32

○生命(いのち)の安全教育実施事例 ※一部抜粋

(小学校)

- ・養護教諭としては、発育測定前の保健教育や、4年生の保健の授業に参加する場合にはそのときに、実施しています。
- ・本庄警察署による非行防止教室で1～3年生に対して話をしている。1年生では、学級活動で養護教諭が絵本「おしえてくもくん」を読み聞かせしながらプライベートゾーンについて指導し、自分の体も他の人の体も大切ということや自分だけの大切ところ、自分の大切ところに誰かが触ってきたときにどうすればいいかを伝えた。
- ・保健教育(小学校体育科保健領域)、アルソックあんしんあんぜん教室によるSNSの利用の仕方。
- ・保健センターと連携した「いのちの大切さを知る授業」を実施。
- ・保健・思春期の体の変化 授業の中の最後に、プライベートゾーンについてや性被害について指導した
- ・文部科学省の命の安全教育の教材を使用し、朝活動の時間に低学年に指導を行いました。
- ・発育測定時の保健指導において、プライベートゾーンについての説明、こんな場面で

はどうするかなどを具体的に指導しています。

- ・発育測定と抱き合わせて実施。文科省の生命の安全教育動画教材を活用。
- ・内容は文科省の資料を参考にしたもの。発育測定時養護教諭により実施。事前に職員、保護者に周知後。その場でふりかえりを取り、保健だよりで内容とふりかえりを紹介。
- ・特別活動の領域で、文科省の動画を見て子どもたちに考えさせる機会を設けています。
- ・特別活動で養護教諭と IT で実施。文科省の動画などを使用して、プライベートゾーン、体と心の距離感等について指導している。
- ・特別活動で小学1年(からだの清潔・からだを大切にすること)・2年(同意)・3年(バウンダリー)・6年(同意とバウンダリー)で実施している。可能な限り授業参観で行っている。また、「生命の安全教育」の一環として月1回、教職員による読み聞かせを行っている。
- ・特別活動(小1:プライベートゾーン、性被害にあいそうになったときの対処)(小4:心と体の距離感)(特支:プライベートゾーン、性被害にあいそうになったときの対処、心と体の距離感)
- ・低学年を中心に、プール前に、養護教諭がプライベートゾーンや性被害防止についての指導をしています。
- ・体育科保健領域体の発育発達の授業時にプライベートゾーンの話もしている。
- ・体育や特別活動として、担任が文部科学省作成の動画やスライドを活用し指導
- ・全学年に学活で文科省の動画視聴をする予定
- ・性教育 埼玉医科大学産婦人科 高橋幸子先生による5,6年生対象の性教育
- ・性に関する全体計画、年間計画に基づき、全学年実施している。学級活動にてプライベートゾーン、体の清潔、SNSでのトラブルについてなど。
- ・水泳指導前に事前指導の形で各担任の先生方に行っていただいています。また、2学期の発育測定時に、養護教諭からのミニ保健指導で確認をしながらショート version として実施しています。
- ・水泳学習前に保健体育の時間を少しいただいてパワーポイントを利用した。
- ・水泳学習の開始前に各クラスで担任より文部科学省から出ている動画を使い指導をしている。
- ・小学4年・保健体育・体の発育発達 愛和病院の助産師による命の授業
- ・助産師さんに講義してもらっています。二次性徴、妊娠・出産以外にも、パーソナルスペースや境界線について話していただきます。
- ・宿泊行事前の保健指導で生理や精通の内容も含め、性の多様性や人との距離感について話をしています。
- ・現在は特別活動として、2年生を対象にプライベートゾーンの学習を行っています。今後、他の学年にも広げていきたいです。
- ・学級活動・助産師による指導「命の授業」
- ・外部講師の活用(体育・いのちの授業)、プール前にプライベートゾーンについて文科省の動画視聴と保健指導
- ・夏季休業前に、全学年実施しました。1から4年生は養護教諭が、5,6年は各担任が、学級活動として実施しました。
- ・ミニ保健指導で系統的に。プライベートゾーン、体と心の距離感、多様性、性暴力などプライベートゾーンについて等学活の授業で
- ・プール指導の前のプライベートゾーンに関わる指導(主に低学年15分程度)、宿泊行事における入浴や持ち物等に関わる事前指導(1時間)、プライベートゾーンの扱だけでなく境界線についても含むような内容(高学年1時間)
- ・1年生への性に関する指導において、プライベートゾーンの大切さと、もし人に触ら

れたら嫌だと言えるようにするという指導を行う予定。

- ・1年生の学級活動で、プライベートゾーンや性暴力被害にあった際の対処法についてを理解する授業
- ・1年生に「おしえてくもくん」の教材で実施する予定です。
- ・1年生「わたしの体」(体の清潔や生活習慣)、2年生「わたしの誕生」(生命誕生の初歩的な理解)、3年生「大切なわたし」(生命の尊さ、プライベートゾーン)、4年生「成長する私たち」(思春期の体の変化)、5年生「心の発達と変化」(体の成長過程と心の変化)、6年生「性の多様性」を実施予定です。

(中学校)

- ・特別支援級で自立活動の時間に実施。プライベートゾーンやパーソナルスペースを含んだ指導をしている
- ・特別活動の時間を使って、養護教諭と担任がTTとなり、性に関する授業を行っている。性教育講演会や育児体験実習も実施しており、外部の講師の方をお呼びして、講話を聴いたり、体験的な学習を行っている。
- ・特別活動において、助産師によるプレコンセプションケア講座を行いました。
- ・特別活動・学級活動・養護教諭が各クラスや学年で実施。プライベートゾーン、デートDV、東横について。
- ・特別活動で、外部講師を招いて、ご講演いただいています。保護者の家庭教育学級とも併せています。
- ・中学2年生に産科医講演後に授業をしています。
- ・総合的な学習の時間の中に位置づけている「いのちの学習」の一環として取り組んでいます。
- ・総合または学活。いのちの学習の一環として実施。
- ・総合の時間に、2年生に対してデートDV防止講演を行っている。
- ・思春期親子講演会として、産婦人科の先生に御講演いただく。
- ・今年度、小学校から中学校に異動しました。保健体育科の教員と相談し、中3の特活で、性暴力、デートDV、SNSとの関わり等を取り扱いたい。小学校では、特活で低学年のプライベートゾーンと高学年のSNSとの関わりを実施していた。
- ・講師(助産師)を招いて、性教育の講演会を実施いたしました。
- ・教科特別活動・健康安全領域・生きる教育講演会として外部講師で3年生対象に行っている。
- ・学年時間割、内容はデートDVに関連して
- ・学級活動で看護実習生と一緒に・宿泊学習事前指導として・まなブックを使用して
- ・学活の時間に外部指導をお招きして、命の授業を3年生を対象に行なっている。
- ・夏期休業前、学活、学年集会において、教育相談担当から、養護教諭から講話の時間を取りました。
- ・3年生の性教育講演会の中で、外部講師が性被害性暴力から命を守ることについて話している。
- ・赤ちゃんお世話・妊婦体験で、赤ちゃん人形と妊婦体験ジャケットを用いて実施する。
- ・赤ちゃんふれあい体験で、赤ちゃんお世話・妊婦体験を実施した上で親子を呼んで実際に赤ちゃんに触れたり保護者の方に子育てに関するお話を聞いたりする。

(高等学校)

- ・保健の科目授業、保健環境部主催行事による外部講師。
- ・特編期間中に保健講話として、文科省の教材を使って実施予定です。

- ・性教育講演会として外部講師を招いて実施。
- ・性教育として学校行事。
- ・性に関する教育講演会を1年次秋に実施。助産師3名により性的同意や性感染症などについて。
- ・在り方・生き方教室 非行防止教室等で触れている。
- ・外部講師による性教育講話。

(特別支援学校)

- ・保健体育の授業において、月1回「保健」の時間を設けている。資料や実践例を参考にしていきたい。
- ・保健体育 思春期の身体の変化でプライベートゾーンについて実施しています。
- ・保健学習として生活習慣病と絡めて行っている。
- ・保健の授業で文部科学省の生命の安全教育の教材を活用して性暴力や相談することの必要性について話をしている。
- ・保健で実態別に取り組んでいる。具体的なロールプレイをして被害者や加害者にならないように対処の仕方も考えて行っている。
- ・体育科と保健室が中心となり外部講師を招いていのちの安全教育含めた性教育講演会を行っている。
- ・自立活動・自己理解・身辺処理について。

<成果>

- 学習指導要領の指導内容をおさえた授業実践について周知することができた。
- 小・中・高等学校の系統的な指導内容の理解が深まった。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解が深まった。
- ケーススタディなどの具体的な指導方法について理解が深まった。
- 「生命（いのち）の安全教育」について、広く周知することができた。

<課題>

各学校で、「性に関する指導」を適切に推進していくために、学習指導要領を正しく理解することや、発達段階を踏まえた指導内容、学校全体での共通理解、保護者の理解、集団指導と個別指導の連携を密にした効果的な指導をする必要がある。また、「生命（いのち）の安全教育」については、学校によって取組状況に差が見られるので、県としての方向性を定めて、その方向性に基づいて、「性に関する指導」と関連付けた取組が推進されるようにしていく必要がある。引き続き研修の充実を図りたい。

(2) 「性に関する指導」授業研究会について ※参加者アンケートより一部抜粋

ア 小学校部会

- ・受け持つクラスに話せることや今後の教育活動をする上での視点が広がった。(小学校・教諭)
- ・新しい情報や性教育の大切さを改めて知ることができた。(小学校・教諭)
- ・自分ごと→学習→自分ごととなっていた。ケーススタディで、自分ごとで考えるようになっていた。(小学校・教諭)
- ・やったことが無い单元なのでとても勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・今までの授業内容と違い、心や命を大切にする、子どもたちに考えさせる内容で、

感心しました。(小学校・養護教諭)

- ・授業実践が少ない中で、ICT や学び合いなど沢山盛り込まれた授業を見せていただけて有難かったです。(小学校・養護教諭)
- ・保健の授業の流れについて知ることができた。また、ケースを使うことで自分ごととして捉えることに繋がると学ぶことができた。(小学校・教諭)
- ・モニター、オクリンクプラス、動画の活用。カラーでわかりやすい資料。知識を教えた上で行うケーススタディ。インプットとアウトプット。素晴らしい授業だと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・オクリンクの使い方や、家庭での連携の仕方等。(中学校・教諭)
- ・授業の進め方、先生と児童のやりとり、とても素敵でした。子どもたちが、自分のこととして、一生懸命考えて取り組んでいるのがよかったです。まだ、自分ではオクリンクを使いこなしていないのですが、やってみたいです。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
- ・小学校の指導を知れたこと、学習指導要領に従った授業がどんなものであるかを確認できたことがよかったです。(中学校・養護教諭)
- ・小学校の性教育を見る機会がはじめてで、丁寧な指導に感動しました。(中学校・教諭)
- ・知識をしっかりと習得させた上で、ケーススタディで考えさせて、実生活に落とし込んで振り返りができていて、素晴らしい授業だったと思います。生殖機能の発達について、学ぶのが中学校で最後になる生徒もいるかもしれないと伺い、しっかりと教えていかなければならないと改めて感じ、気が引き締まりました。学び合いを活用して、考えを深め合い共有しながら進めていけたらと思います。(中学校・養護教諭)
- ・小学生の細かい保健の授業と課題を明確にし、子どもたちが自ら考え、日常生活につなげることができる授業を見ることができたから。(中学校・教諭)
- ・性に関する指導の授業見学を行ったことがなかった。ICT の使い方や、グループワーク、最後の子どもたちのまとめから、私の想像以上に学習内容が身につけていると感じた。(特別支援学校・養護教諭)
- ・性に関する指導の授業のあり方や指導内容、小・中・高の各段階での性に関する指導内容を理解することができました。本日の参加を通して、改めて自分自身学ぶことができました。ありがとうございました。(市町村委員会・指導主事)

イ 中学校部会

- ・kahoot! での前回の授業の振り返りやサイコロゲームでの活動を通した学び方が参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・自分の意見を表明することや、同意を得ることの大切さの授業をはじめて見させていただきました。また、サイコロやカフートを使った活動がとても参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・助産師さんが講師で来てくださる授業を初めて参観させていただきました。(小学校・養護教諭)
- ・サイコロゲームなど、生徒が考えて経験して学ぶ学習活動を知ることができました。(小学校・教諭)
- ・パワーポイントだけでなく ICT の活用(カフート)や、講義だけでなく活動が多く、活発な授業で参観側も楽しくできたから。(小学校・助教諭)
- ・小学校の経験だけではわからないものがたくさんあって、とても勉強になりました。(小学校・養護教諭)

- ・子供たち同士で触れ合う場面など興味関心を引き出す取組が行われていたため参考にしたい。ただそれがゴールになってしまわないように、目当てに戻って授業を進める必要があると感じた。(小学校・養護教諭)
- ・学習課題に迫る為の学習活動や ICT の活用の仕方が参考になった。(小学校・校長)
- ・保健の学習をどれだけ子ども達が楽しく取り組めるか、その仕掛けを学ぶことができました。(小学校・教諭)
- ・長期研修で「いじめ」の研究をしている上で、旭川市の性被害いじめ自殺があったように、性被害のいじめも深刻な問題です。「同意」について本日、中学校の学習で学ぶことができたのは大変ありがたかったです。(小学校・教諭)
- ・外部講師の活用、クロストーク、ゲーム等の手立てを活用してねらいにせまっていた。(小学校・教諭)
- ・導入のクイズが、恥ずかしさを感じず取り組めて良かった。(小学校・養護教諭)
- ・正しい知識はお守りという言葉が印象的でした。サイコロゲーム等の経験と得た知識から生徒達は、多様な感じ方があること、相手の気持ちを大切にすることに気づけるよい授業でした。(小学校・養護教諭)
- ・正しい知識と、その知識を活用して断る、伝える力が必要だとわかった。(中学校・教諭)
- ・日常のクロストークを取り入れたい。また、ノーを受け入れるサイコロトークを授業に取り入れたいと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・今日の授業研究では、保健の授業ということだけでなく、学校教育全体を通して生徒への指導方法やそのツールの活用など多くのことを学ぶことができました。(中学校・教諭)
- ・カフトやふれあいサイコロゲーム等活動の引き出しが広がりました。ぜひ自校でも実践したいと思います。(中学校・教諭)
- ・性に関する指導について、外部の先生の活用方法や生徒への指導について参考になる部分が多かった。(中学校・教諭)
- ・外部講師の活用、クロストーク、サイコロゲームなど授業の流れや生徒の様子がとても良かった 系統的な指導の必要性を感じた。(中学校・養護教諭)
- ・授業内での「ふれあいサイコロゲーム」を通じて、身体接触を断ったり、受け入れたりする体験が今後の日常生活に生きてくると感じた。一斉の講義型よりも授業の方が生徒への性教育に関する効果は大きいと改めて学ぶことができた。(中学校・教頭)
- ・生徒同士の関わり方に関する性教育が、大変勉強になりました。また、助産師さんに講話していただけることはとてもよいことだと感じました。(中学校・養護教諭)
- ・保健の授業では講義型になってしまうことが多く悩んでいたところ、性の授業で参加型にすることで自分の気持ちも相手の気持ちも理解しやすいと感じました。またゲーム感覚で振り返りをする導入も新たな気づきになりました。(中学校・教諭)
- ・助産師の外部講師の方との連携の取り方や、クロストークの積み重ね、生徒が楽しみながら学ぶことができるゲームの工夫等非常に参考になりました。(中学校・養護教諭)
- ・中学校の授業実践そのものから性に関する指導の全体像、また小・中の先生方との意見交換など、大変勉強になった。(特別支援学校・教諭)
- ・特別支援学校と実態は違うが、Kahoot!や、ふれあいサイコロゲームなど指導にあたって子供たちの興味関心を引きながら学習できるような内容もあった。指導の

仕方についても、授業に入ることが少ないのでとても勉強になった。(特別支援学校・養護教諭)

ウ 高等学校部会

- ・校種は違うものの、授業のやり方や内容がとても、勉強になりました。(中学校・教諭)
- ・赤ちゃんポストという題材を軸に、ねらいを的確に指導していた点が非常に参考になりました。(高等学校・教諭)
- ・養護教諭が保健の授業を行うことの意義について非常に納得でき、自分自身も授業に携わってみたいと思った。生徒の実態に合わせて、授業を行うことの重要性を学びました。(高等学校・養護教諭)
- ・コウノトリのポストを題材に、5時間をかけて性に関する指導の目的を踏まえた授業実践がなされていました。望まない妊娠の一つの選択肢として設置されているポストですが、三郷高校の生徒たちが考えを深めるにはとても良い題材だったと思います。グループ活動の内容として、預けられた子どもの身になるとどうかと思うけれど、自分が望まない妊娠してしまったら、あった方がいいとも思う、これって、賛成も反対もできない。というところまで議論が進んでいました。難しい問いだからこそ、思考できていたと思います。官尾先生の思いが詰まった、三郷高校の実態にあった授業であり、大変参考になりました。(高等学校・教諭)
- ・性に関する授業の内容・展開・見通しを立て直すきっかけとなった。(高等学校・教諭)
- ・多くの意見を聞いたこと。協議では自分の学校に反映させたいことを学べたこと。(特別支援学校・教諭)
- ・高等学校の保健授業の実情と性に関する授業の取り組みについて多くを学ばせて頂いた。(特別支援学校・教諭)
- ・授業展開の仕方や事前準備がとても参考になりました。性に関する指導については実態に応じて指導方法を変える必要があると改めて考えることが出来た。(特別支援学校・教諭)

5 令和8年度の事業予定について

(1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会の実施(継続)

ア 日時

第1回	課題解決検討委員会	令和8年	6月	3日(水)	(予定)
第2回	課題解決検討委員会	令和8年	8月	25日(火)	(予定)
第3回	課題解決検討委員会	令和9年	1月	27日(水)	(予定)

イ 内容(予定)

- ・課題解決検討委員会事業計画の作成
- ・「性に関する指導」指導者研修会の計画
- ・「性に関する指導」授業研究会の計画、学習指導案の検討
- ・外部講師の活用について研究
- ・「生命(いのち)の安全教育」を関連付けた指導の好事例収集
- ・成果報告
- ・事業のまとめ 等

(2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 日時 令和8年8月4日(火) オンライン開催 (予定)

イ 内容

- ・行政説明
- ・事例発表

小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」
(イ) 思春期の体の変化
入間市立高倉小学校 教 諭 田中 絢子

中学校指導事例 第1学年「心身の機能の発達と心の健康」
(イ) 生殖に関わる機能の成熟
熊谷市立熊谷東中学校 教 諭 今成 友美

高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康
① 結婚生活と健康
県立三郷高等学校 養護教諭 宮尾 仁美

- ・講演
講師未定

(3) 「性に関する指導」授業研究会

小・中・高等学校の各校種での授業 令和8年10月～11月 (予定)

II 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

令和7年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会開催要項

1 趣 旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

2 開催日時 令和7年8月5日(火) 13時20分から16時30分まで
(接続：13時～)

3 会 場 Teamsによるオンライン開催(ライブ配信)

4 主 催 埼玉県教育委員会

5 参加対象者

(1) 公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員(管理職・体育・保健体育科担当教職員・養護教諭・保健主事等)

(2) 市町村教育委員会の指導主事

※参加人数の上限を500名とし、上限に達した場合は、申込を締め切ります。

6 日 程

13:00 13:20 13:25 13:45 14:45 14:55 16:25 16:30

受 付	開 会 行 事	行政説明 20分	指導事例発表 60分	休憩	講 演 90分	諸 連 絡	閉 会 行 事
--------	------------------	-------------	---------------	----	------------	-------------	------------------

7 内 容

(1) 行政説明

・教育局県立学校部保健体育課 指導主事 佐野 秀行

(2) 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会指導事例発表

・小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」

(ア) 体の発育・発達

本庄市教育委員会 塩澤 美保子 指導主事

・中学校指導事例 第3学年「健康な生活と疾病の予防」

性感染症とその予防

加須市立加須東中学校 久保 あかね 教諭

・高等学校指導事例 第1学年「現代社会と健康」

(イ) 現代の感染症とその予防

性感染症・エイズとその予防

県立進修館高等学校 梨本 雄太 教諭

(3) 講演

演題 「学校における性に関する指導の考え方と進め方
～教科等横断的な視点を加えて～」

講師 筑波大学体育系 准教授 片岡 千恵 氏

8 その他

(1) 研修当日用意するもの

ア オンライン視聴することができる端末等

イ 研修会配布資料及び筆記用具

※埼玉県HPからダウンロードし、オンライン画面を見ながら資料も参照できるように準備する。資料は令和7年7月29日（火）までに掲載予定。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 学校保健に関すること > 各種研修会の配布資料

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/kenshushiryoku.html>

【二次元コード】



現在は、資料掲載終了済です。

ウ 保健教育指導参考資料 なるほど！保健の授業づくり—令和4年度発行—

(令和5年3月 埼玉県教育委員会・埼玉県学校保健会)

※各校に1冊配付済みの他、埼玉県HPからもダウンロードできます。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 健康教育

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/hokenkyouiku.html>

【二次元コード】



(2) 申込から研修当日までの流れ

別紙「令和7年度埼玉県「性に関する指導」指導者研修会申込マニュアル」を参照

一指導事例発表資料一

【小学校指導事例】

第4学年 体育（保健領域）

「体の発育・発達」（ア）体の発育・発達

発表者：本庄市教育委員会

指導主事

塩澤美保子

【中学校指導事例】

第3学年 保健体育（保健分野）

「健康な生活と疾病の予防」 性感染症とその予防

発表者：加須市立加須東中学校

教諭

久保あかね

【高等学校指導事例】

第1学年 保健体育（科目保健）

「現代社会と健康」（イ）現代の感染症とその予防

性感染症・エイズとその予防

発表者：県立進修館高等学校

教諭

梨本 雄太

小学校指導事例発表
第4学年「体の発育・発達」
(ア) 体の発育・発達

本庄市教育委員会 指導主事 塩澤 美保子
 (授業時：本庄市立藤田小学校 養護教諭)

学校の概要

本庄市立藤田小学校

- ▶開校 151周年
- ▶児童数 82名
- ▶学級数 8学級
(全学年1クラス+特別支援2)



- ▶学校教育目標
 「かしこく たくましく なかよく」
 ふ 文化をすすんで学ぶ子
 じ 自分の体をきたえる子
 た 他の人を大切にする子

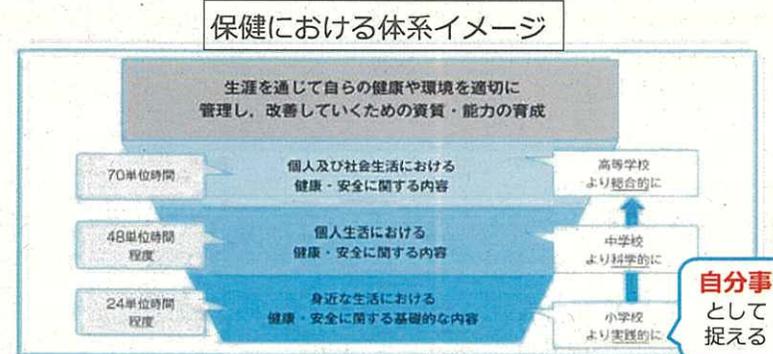
本日の流れ

背景 ▶ 実践① ▶ 実践② ▶ 成果と課題

- 1 背景：授業を行うにあたって
- 2 実践①：授業研究会当日（第1時）
- 3 実践②：外部講師活用授業
- 4 成果と課題

学習内容の系統性

背景 ▶ 実践① ▶ 実践② ▶ 成果と課題



引用：小学校指導参考資料 改訂「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き

研究授業日の授業

【導入】
 <先生が4年生の身長をクイズ>
 児童が身近な存在である本校職員の名前を挙げて、身長よりも身長が伸びたことについて発表してもらう。そして、クイズの答えを発表する。身長が伸びたことについて発表する。

【展開 1】(習得①)
 すくすくテープ (入学時から4年生までの身長の伸びを色分けしてテープを作成。これを児童の身長に貼る。)

身長が伸びたことについて発表する。身長が伸びたことについて発表する。

身長が伸びたことについて発表する。身長が伸びたことについて発表する。

背景 **実践①** **実践②** **成果と課題**

【まとめ】(習得②)
 体は伸びるだけでなく、身長も伸びる。

【展開 2】(活用)
 <ロールプレイ>
 児童が身近な存在である本校職員の名前を挙げて、身長よりも身長が伸びたことについて発表してもらう。そして、クイズの答えを発表する。身長が伸びたことについて発表する。

身長が伸びたことについて発表する。身長が伸びたことについて発表する。

授業の導入

背景 **実践①** **実践②** **成果と課題**

とつぜんですが、クイズです。
 現在 172 cm
 10才 125 cm
 とつぜんですが、クイズです。その2。
 現在 184 cm
 10才 158 cm

・児童にとって身近な本校職員2名の小学校4年生の時の身長クイズ (平均的身長教員→背が高い教員)

初めに出た先生と同じくらいなんじゃないかな・・・

メガネ先生は今も大きいから昔も大きかったかな？

・イメージをわかりやすく
 ・出題順で思考をゆさぶる

展開 1 (習得①)

背景 **実践①** **実践②** **成果と課題**

本時の学習課題
 わたしたちの体は、年れいととも、どのように変化してきたか考えよう

体の発育を**自分事**として捉え、**体感**してもらうために・・・

「すくすくテープ」

自分1年生の時から、どれくらい大きくなっただろう？

すくすくテープ

1年生ののび 赤
 2年生ののび 黄
 3年生ののび 青
 4年生ののび 緑

・小学校1年生4月～4年生最終身長伸びを**実寸大**でテープ作成
 ・Excelを使用し、作成。

展開 1 (習得①)

背景 **実践①** **実践②** **成果と課題**

発育の実感

こんなに小さかったんだね

目線が全然違うね。

養護教諭の専門性

みなさんの体は年齢と共に大きくなっています。これを「発育」と言います。

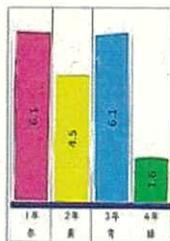
主たる学習内容 (知識)
 身長や体重は、年齢に伴って変化すること

展開1 (習得②)

背景 実践① 実践② 成果と課題

すくすくグラフを作ろう

- ①色ごとに切る。
- ②紫の線にあわせてこのじゅんで、はる。
- ③グラフができたらタブレットで写真をとる。
- ④オクリンクで送る。

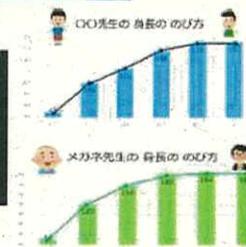
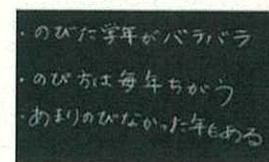


自分のすくすくテープからグラフを作る→自分の成長のグラフ
オクリンクでみんなで共有することで、「個人差」を視覚化・体感

展開1 (習得②)

背景 実践① 実践② 成果と課題

みんなのグラフを見て、気づいたことは何だろう？



主たる学習内容 (知識)
体の変化には、個人差があること

展開2 (活用①)

背景 実践① 実践② 成果と課題

得た知識を活用して、発育で悩んでいる人へのアドバイスをしよう

お母さん1

最近、みんな背がびて大きくなったのに、
ぼくだけ、背がのびなくて...悩んでいるんだ。



ロールプレイ



お母さん2

4年生になったら、急に背がのび始めて、背の
じゅんも、一番後ろになっちゃった。なんだか、
はずかしいな。



- ・悩みを人に打ち明ける・学びを生かして人にアドバイスするを疑似体験

児童のふりかえり

背景 実践① 実践② 成果と課題

- ・わたしは、発育と個人差を知り、人とくらべないで、自分なりに成長していけばいいと思いました。本当に悩んでいる人がいたら、今日みたいにアドバイスを言ってあげようと思います。
- ・今日、ぼくは、1年生から4年生で、そんなに成長してないと思ってたけれど、意外と成長していて、びっくりしました。
しかも、人によって個人差があり、人それぞれ成長する大きさがちがうと知れました。これからの発育が、もっと楽しみになってきました。
- ・私は身長が小さいけれど、今日の授業を受けて、小さくても、個人差で、小さくてもいいんだなって思いました。

児童の振り返り

背景 実践① 実践② 成果と課題

- ・自分の命の大切さがわかってよかったです。これからも、自分を大切にしようと思います。
- ・ぼくは、生まれる前に死んでしまう子もいて、ぼくたちは、きせきで、えらばれてうまれてきたんだなと思いました。
- ・わたしは、赤ちゃんはこうやって、おなかの中で育って生まれると分かりました。わたしも、自分の体を大切に、リレーのように続いてきたバトンを、未来にわたしていきたいと思います。

成果

背景 実践① 実践② 成果と課題

- 1 すくすくテープ→発育の可視化・**自分事**として捉えさせることが出来た。(ICTの活用・養護教諭の専門性)
- 2 ロールプレイ
→ロールプレイを行う目的にそって実施できるように教師がファシリテートすることで、深い学びになる。
- 3 指導内容の精選・教師の説明の精選
→児童の活動時間を確保して、学びを深める。
- 4 外部講師を活用→高い教育効果・体の発育への肯定的な気持ち

課題

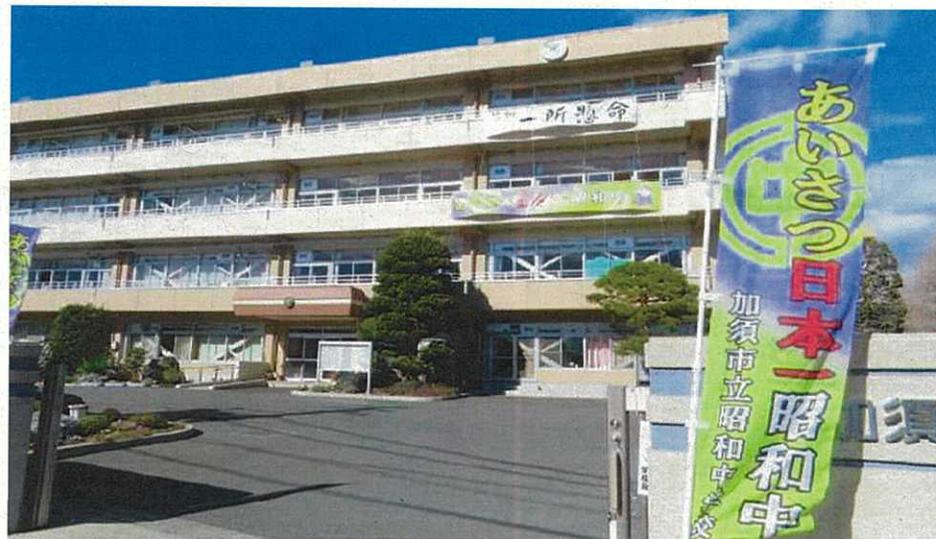
背景 実践① 実践② 成果と課題

- 1 ITの打ち合わせをする時間確保の難しさ
→事前準備をして短時間での打ち合わせ
毎年1つつづでもITの授業の指導案を作成し、貯めておく。
- 2 外部講師の授業で、「命の大切さ」は伝わったが、保健の学習内容を結び付けられていた児童は少なかった。

令和7年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

中学校指導事例
第3学年「健康な生活と疾病の予防」

埼玉県加須市立加須東中学校
教諭 久保 あかね
(元加須市立昭和中学校)



学校の概要

埼玉県加須市立昭和中学校

開校：昭和25年
生徒数：592名
学級数：21（通常級15学級 特別支援6学級）

学校教育目標

「自ら学び 真剣に働く 心豊かで たくましい生徒」

目指す学校像

「安心・安全で、夢を育み未来へ導くため、地域と協働する学校」

指導内容の系統性

小学校

中学校

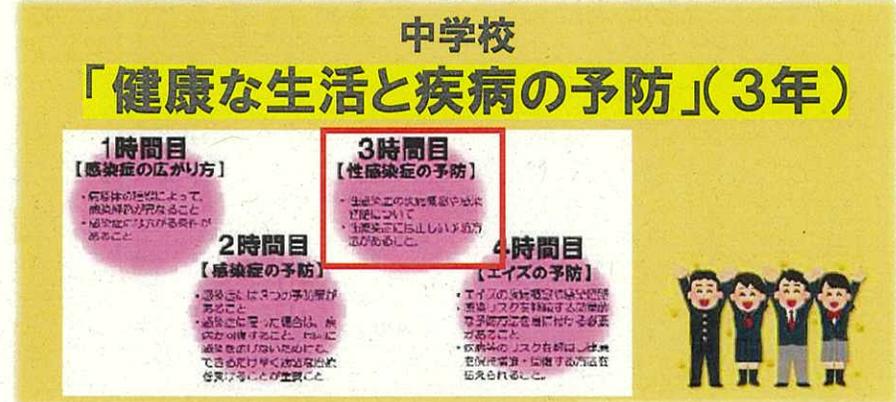
高等学校

生涯

指導内容の系統性



指導内容の系統性



生徒の実態

知識・技能

- 1年時に生殖機能の成熟を学んでいる
- プライベートパーツを用いて授業を展開し、人権教育とのつながりをもたせている
- 普段の生活から「性」を軽視した言動もみられる。
- 実際に自分ごととして捉えて生活できていない。
- 学習内容を忘れてしまったり、プライベートパーツの意味を履き違えて覚えている生徒がいる。

思考力・判断力・表現 等

- 自己の課題を見つけ、文章や言葉で表現することが得意な生徒とそうでない生徒で二極化している。
- 対話的活動では、表現力が豊かで、授業の流れや取り組み方を理解すれば活発に発言ができる。消極的な生徒もいるが、正しい助言をすることで、仲間とコミュニケーションをとりながら意見を述べることができる。

学びに向かう力、人間性等

- 明るく前向きな生徒が多い。
- 保健の授業にも積極的に参加をする。
- より深い理解を求めするための質問をするなど、粘り強く学習する姿がある。
- 自分からアクションをすることが苦手。
- 周りの様子を伺うことが多い。
- 「性」に関して、興味や自分の考えをもっているにも関わらず、発言することに抵抗がある



はじめに

1時間目

【感染症の広がり方】

- 病原体の種類によって、感染経路が異なること
- 感染症には広がる条件があること



2時間目

【感染症の予防】

- 感染症には3つの予防策があること
- 感染症に罹った場合は、疾病が回復すること、周囲に感染を広げないために、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要



感染症の広がり 感染や発病に関わる条件

- 人の条件
…生活習慣や体力・抵抗力 など
- 自然環境の条件
…温度・湿度 など
- 社会環境の条件
…住居、人口密度、交通 など

感染症の予防 3つの対策を覚えよう



導入

授業研究会 3時間目

【性感染症の予防】

- ・性感染症の疾病概念や感染経路について
- ・性感染症には正しい予防方法があること。

導入

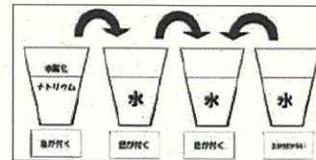
○じゃんけん水取りゲーム(ウォーミングアップ)

- ・じゃんけんをして勝った方が、カップに入った水を少しもらう。
- ・水が一番多かったコップの班が優勝!

実際は…

○感染拡大実験 (※生徒には言わない)

- ・水酸化ナトリウムが入っているコップが一つだけある。
- ・じゃんけんの勝敗によってどんどん水が混ざる。見た目は変わらない。



※薬品なので、生徒に触らせない方が
良いという理科教諭からのご意見
あり。

安全性を考慮。



導入

○前時の内容の復習(感染症の予防)

○1年時に学習したスライドを使用し、「性」に関する学習を

性について(復習)

性 = 命 の勉強
中1の時に勉強しました。

取り返しのつかない
犯罪被害に
巻き込まれることも

性について(復習)

大切な人を傷つけないため、
自分を守るため、
正しい知識・行動

性について(復習)

性や性器は
人権 そのもの
大切にすることを
きつとあなたの役にたちます。

性について(復習)

選択に迷ったり困った時、
正しい知識は

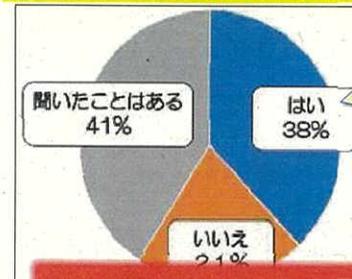
性について(復習)

人の『命』に関わる場所



導入

「プライベートパーツ」は知っていますか？



・具体的に答えられる人もいることがわかった。

・半分以上の人は何のことなのか理解していない。

覚えていない。

自分ごととして捉えられていない

展開

○基礎知識の習得

- ・性感染症の感染経路が性的接触であること。
- ・性に関するアンケート結果の確認。

→異性に対する興味や、相手に触れたいという気持ちが、心の成長と共に増えていることを交えながら、感染拡大について説明。

【質問】

好きな相手としてみたいことを3つ選んでください。



展開

○ウォーミングアップで行った感染拡大実験の意図と理由を伝え、結果を確認。

性的接触によって感染する感染症

- ・自覚症状がない
- ・本人が気がつかない

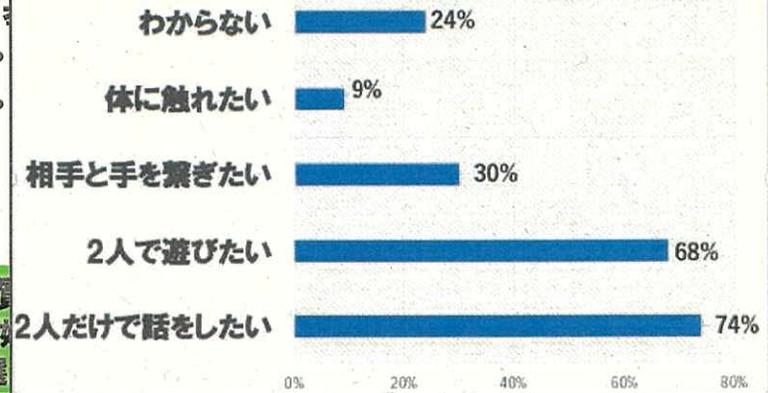
感染を広げる可能性がある



生徒たちは真剣に結果を見ていた。自分たちの班の水の色が変わると、驚きの声をあげていた。

展開

○



【質問】

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、まとめ用紙に特徴をまとめさせる。

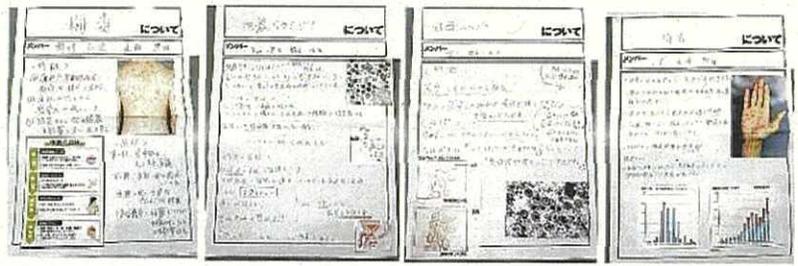
性感染症予防

- ① 性器クラミジア感染症
日本で最も多い性感染症
- ② 梅毒
近年急増!
- ③ 性器ヘルペス感染症
一度感染すれば再発すること

展開

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。



展開

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。



情報量が多いと脱線してしまう
可能性があるため、前もってま
とめておいた資料から、各班ご
とに要点を絞り、図や写真をう
まく活用しながら用紙にまとめ
ていく。

展開

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。

展開

○性感染症の主な3つの性感染症

(性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症)をグループで調べ、
まとめ用紙に特徴をまとめさせる。



号車ごとに担当した性感染症の特徴について調べた内容を発表。

わかったことや気になったワードを簡単にメモできるようにする。

展開

○自分ごととして捉えられるように説明をし、感染した時にどのような行動をとるのか、具体的に考える。

性感染症の予防	感染しないために
大切 正しい知識を知っておくこと。	正しい知識は、自分、パートナーのことを守ってくれる。
大切 コンドームを正しく使用する。	正しく使用することで、性感染症を防ぐことができる。
大切 性的接触を避けること。	正しい判断と行動を、安全なパートナーを。



具体的にイメージしやすいようにキーワードをワークシートに記載。

まとめ

○自分ごととして捉えられるように説明をし、感染した時にどのような行動をとるのか、具体的に考える。

今日の学びを思い出して、今や将来パートナーができて、そのことが本当に自分や相手にとって正しい行動なのかよく判断できるようにしたいと思ってます。自分だけがなく友達にも正しい知識を伝えてあげたい。
 自分は女性だからと注意したいし、将来添いっちゃんをうめようって、今日からしっかり予防をしていきたいです。

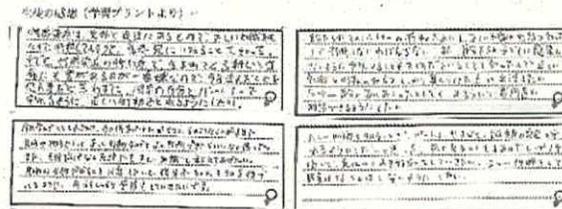
まとめ

性感染症の予防	感染してしまった場合
性感染症は 自然に治らない	

性感染症の予防 しっかり考えて欲しいこと。

「他人事」ではなく「自分ごと」としてとらえる。

「自分の身にも起こりうる問題」なのです。



まとめ

○自分ごととして捉えられるように説明をし、感染した時にどのような行動をとるのか、具体的に考える。

自分たちや、そのパートナーの将来のために、正しい知識や行動を知ることが判断しなくてはならない。自分たちがもしも感染しないように予防することも大切だ。ということを知って、正しい知識と行動の仕方として、しっかり身に付けて、生活したい。だから自分の身にもこころとして、おろいいて、専門医に相談できるようにしたい。

令和7年度 埼玉県「性に関する指導」 指導者研修会 実践発表(高等学校)

埼玉県立進修館高等学校
保健体育科 梨本雄大

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

埼玉県立進修館高校について

- 創立110周年を迎える伝統校
(行田女子高、行田進修館高、行田工業高が統合)
- 進修館高校として21年目
- 行田市に唯一の高校
- 総合学科と工業3科の多課程校

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

埼玉県立進修館高校について

- 陸上競技部(投てき)や写真部が全国区
 - 進学組と就職組が混在する多様な進路
 - 生徒数(受検者)は年々減少傾向に
- ☆性に関する正しい知識の習得が必要不可欠

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

高等学校学習指導要領 解説

高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説
保健体育編 体育編(H30.7月文部科学省)

(ア)生涯の各段階における健康

生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。

⑦ 思春期と健康

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。

なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

高等学校学習指導要領 解説

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説
保健体育編 体育編（H30.7月文部科学省）
（ア）生涯の各段階における健康

④ 結婚生活と健康

結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。

なお、妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じて関連付けて扱う程度とする。

高等学校学習指導要領 解説

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説
保健体育編 体育編（H30.7月文部科学省）
第3章 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

3 「体育」及び「保健」

(1) 中学校との関連

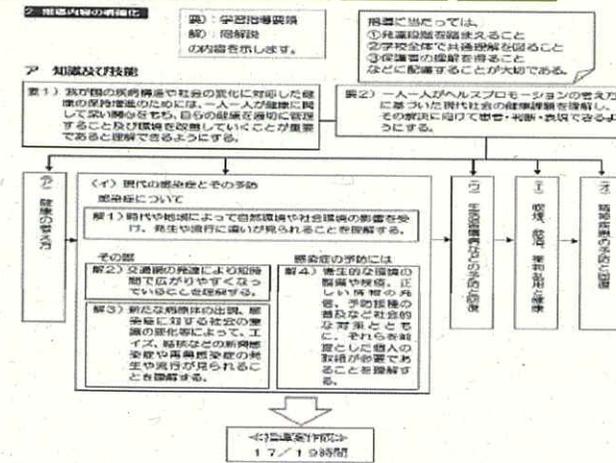
(5) 義務教育段階との接続を重視し、中学校保健体育科との関連に留意すること。「保健」では、小学校、中学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができるように内容を明確化しており、義務教育段階の学習内容が定着していることが前提として必要となるものであることから、生徒の実態等を踏まえ、関連する中学校の内容を適宜取り入れ、復習した上で指導することが考えられる。

指導の内容について

(1)現代社会と健康 (イ)現代の感染症とその予防 性感染症・エイズとその予防

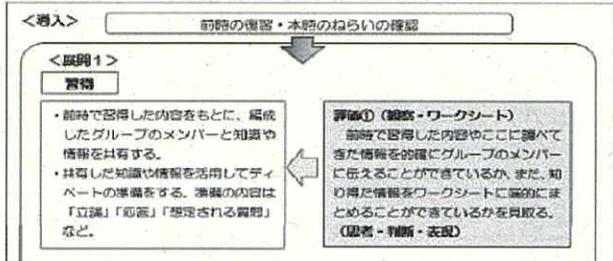
1 指導内容の系統性

中学校では、「健康な生活と疾病の予防」において、健康の保持増進や疾病の予防をするためには、食料、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること、生活行動と健康に関する内容として喫煙、飲酒、薬物乱用を取り上げ、これらと健康の関係を理解できるようにすること、また、疾病は主体と環境がかかわりながら発生するが、疾病はそれらの要因に対する適切な対策、例えば、保健・医療機関や医薬品を有効に利用することなどによって予防できること、社会的な取組も有効であることなどを学んでいる。



3. 知能を活用した学習

前時までに、本時で扱う内容（性感染症・エイズ）に関連した内容について、スライドやワークシート、およびディスカッションや調べ学習などのグループ活動を用いて学習している。また事前アンケートを実施して、性に関する知識・理解を調査し、そのデータに基づいた授業準備を行っている。
本時では、前時の内容および事前アンケートを参考に、『ディベート』を活用した授業を展開する。ディベートでは、前時までに習得した性感染症・エイズの知識をもとに、生徒一人一人が性について意見を判断・表明できるようにする。
こうした活動を通して、エイズを予防するためには正しい知識を身に付けること、そして一人一人が当事者意識を持った行動をとることが重要であると理解できるようにする。



<展開2>

活用

- ディベートの展開に応じて、自身のグループで共有した考え方や情報を適切に相手グループに発信する。
- 相手グループからの発言や質問に対して、自身のグループのメンバーと協議しながら次の発言を検討する。

<展開3>

きどめ

- ディベートを通して学習した内容をグループのメンバーと共有する。また最も優れた発信者を選出する。
- 前時から本時までの学習内容を80字以内で文章化し、知識の再構築を図る。

評価②（観察・発表）

ディベートを通して学習した内容や考え方を、グループのメンバーと伝え合ったり、文章にまとめることができているかを見取る。
(主体的に学習に取り組む態度)

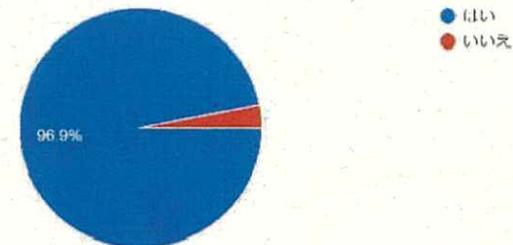
前時～本時の活動内容（目標）

- 性感染症・エイズについて理解を深める。
- 他の感染症との違いについて、他者に説明できるようにする。
- ディベートをとおして、自分や仲間の考えをしっかりと主張できるようにする。

授業前のアンケートより（生徒）

中学までの保健の授業で、性に関する指導を受ける機会がありましたか。

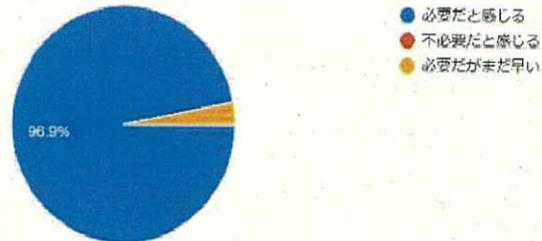
32件の回答



授業前のアンケートより（生徒）

高校で性に関する指導を受けることをどのように考えますか。

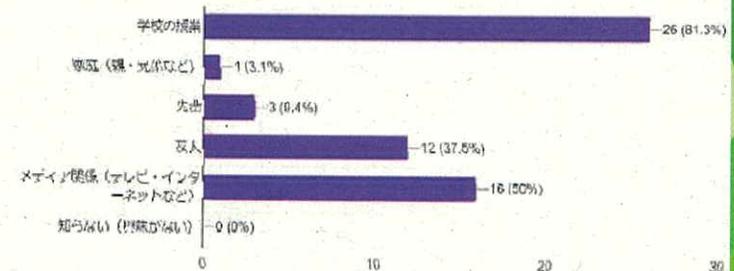
32 件の回答



授業前のアンケートより（生徒）

普段、性に関する情報はどのように知り得ますか。（複数回答可）

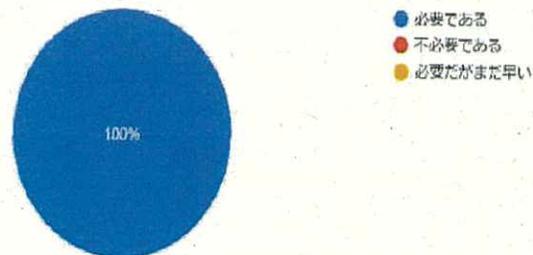
32 件の回答



授業前のアンケートより（保護者）

高校で「性に関する指導」を実施することに対してどのようにお考えですか。

14 件の回答



授業前のアンケートより（保護者）

今後、ご家庭でお子様に対して性に関する指導や話し合いをする予定はありますか。

14 件の回答



授業前のアンケートより（保護者）

今後、学校で「性に関する指導」を学習していくにあたって、何かお考えがあれば自由にご回答ください。

イイね5篇

とくになし

自分や相手の人生 新たな命の大切さを

よく理解する必要があると思います

しっかりとした知識が必要/年齢で異なりますのでよく学んでほしいです。

性病や感染症の予防のほかSNS(リベンジポルノ、デジタルタトゥーなど)の危険性についてもあわせて指導してほしいです。ちょうど先日、子供に話をしましたが自分の身体は自分で守らなければいけないことを伝えてほしいです。

特になし

授業前アンケートを踏まえて

自身の「性」に対して関心を持ち、

「自分の行動・思考への責任感」

「他者への理解と尊重」「適切な対処方法の理解」

を深めることができるようにする。

→自分を大切にする心（**セルフリテラシー**）の確立へ

前時の活動について

- 性に関する教育の必要性について伝達
- ディベートのテーマ発表
- ディベートの方法について伝達
- グループ作成、情報の共有
- アンケートの説明と回答

前時の活動について（テーマ）

【女子用】

パートナーが交際前から《性感染症》に罹患していたことが分かった。

あなたはそのパートナーとは

A. 交際を続けますか？ それとも B. 別れますか？

【男子用】

パートナーが交際前から《エイズ》に罹患していたことが分かった。

あなたはそのパートナーとは

A. 交際を続けますか？ それとも B. 別れますか？

テーマ①女子用《ストーリー》

私は18歳の女子高校生だ。人生で初めてできた彼氏は20歳の大学生で、私との交際直前まで別の彼女がいたらしい。交際スタートから3週間、初めて彼氏の家を訪れることに。食事をしたりおしゃべりしながら過ごしていたが、少しずつ体を寄せ合ってきてだんだん良い雰囲気になり...

とここで突然、彼氏から「もしかしたら性病にかかっているかもしれないけど、コンドーム付ければ大丈夫だから」と言われた。交際後に浮気したわけではないと説明されたものの、なんだか微妙な空気になってしまい、その日は何もすることなく解散した。

帰宅後も何度かラインのやりとりを続けたが、気持ちはモヤモヤしたままだった...

あなたはそのパートナーと

A.交際を続けますか？ それとも B.別れますか？

テーマ②男子用《ストーリー》

私は25歳男性、社会人3年目だ。交際して1年くらいの年下の彼女がいる。社会人として軌道に乗ってきて結婚もいいなあなんて考え出した頃、彼女がHIVに感染していることが分かった。結婚するかもしれないなら友人の勧めでHIV抗体検査を受けてみたら陽性反応が出たらしい。

その話を聞き、私も抗体検査を受診しに行ったが、私自身は陰性であった。(性交渉時には必ずコンドームをしていたからだと思う。) 彼女は二人の今後を考えて別れることを提案してきた。もし結婚となったときに健康な子どもを産む自信がない(母子感染の心配)、とのことだった。

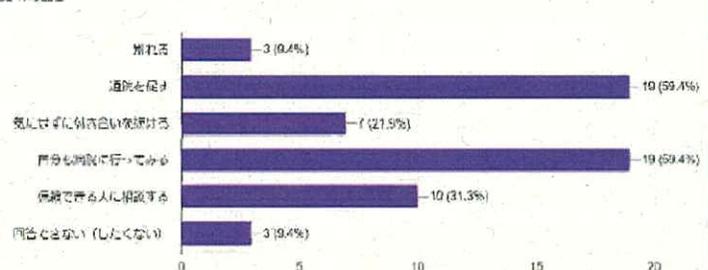
あなたはそのパートナーと

A.交際を続けますか？ それとも B.別れますか？

前時の活動について

(恋人がいると仮定して) パートナーが性感染症にかかっていることを知ったらあなたはどうしますか。(複数回答可)

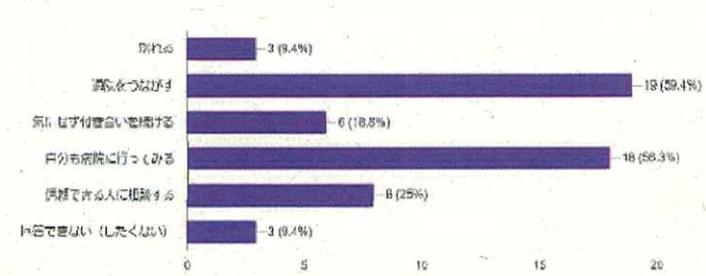
32件の回答



前時の活動について

(恋人がいると仮定して) パートナーがHIV感染、またはエイズが発症していることを知ったらあなたはどうしますか。(複数回答可)

32件の回答



前時の活動について (テーマ)

もし自分が性感染症というトラブルに直面した時、「何を考え」「どのような行動を選択できるのか」を他者と協力してシミュレーションする。

⇒ 『主体的』『対話的』に解決する方法を見出そうとするマインドをはぐくむ目的！

本時の活動について

- 前回の復習・説明
 - テーマの確認・グループ毎の準備
 - ディベート
 - 判定・フィードバック・まとめ
- ☆次ページから実際に授業で使用したものです

本日の展開

- ①前回の復習・説明(5分)
- ②テーマの確認・グループでの準備(20分)
- ③ディベート(12分)
- ④勝敗の判定・フィードバック(8分)
- ⑤まとめ(5分)

ディベートについて

- ☆仲間・相手の意見を尊重する(傾聴)
- ☆ルールを守る(遵守)
- ☆自信をもって発言する(主張)
- ☆ディベートを楽しむ(Enjoy!)

準備について(約20分)

- ☆司会・記録の選出(各グループ1名ずつ)
- ☆事前学習の情報の共有
- ☆情報をもとに立論を考える
- ☆(時間があれば)相手の質問を想定する

準備開始!

ディベートのヒント

- ☆性感染症・エイズは治るのか?
- ☆交際開始からの年月は?
- ☆相手の感染の原因は?
- ☆2人の将来設計は?

ディベート 開始!

ディベート 終了!

判定

☆主張者の説得力は？

☆主張内容の具体性は？

☆相手グループの応答する力は？

まとめ

- ◎ディベートの内容説明(クラス発表)
- ◎80文字チャレンジ
- ◎アンケートに回答(時間があれば)

まとめ

- ◎性感染症やエイズについて正しい知識は手に入りましたか？
- ◎自身の考えを積極的に他者に伝えることができましたか？

◎「性」の考え方や感じ方は人それぞれ

◎「いつか」のためにしっかりと備える

◎他者を否定せず受容するマインドを！

お疲れさまでした！！

現代社会と健康 17 性感染症・エイズとその予防

【学習目標】 性感染症とその予防、性感染症として認識する。
 【学習内容】 性感染症とは？「性感染症」を知る！
 現代社会ではインターネット・SNSの普及で匿名で書き込みが容易になっている。一歩間違えば「性感染症」に関する誤った情報、デマが拡散され、SNSで「セクハラ」や「セクハラ」の被害に遭っている。性感染症の予防と治療について学ぶ。

【性感染症】
 本学で行っている「性感染症」の授業は、STD (Sexually Transmitted Disease) と呼ぶ。性感染症は多くは予防が難しい。性感染症は「性」の行為によって感染する。性感染症は「性」の行為によって感染する。性感染症は「性」の行為によって感染する。

【エイズ】
 現代社会で最も深刻な問題の一つとして認識されている。エイズは「免疫不全症候群」の総称。エイズは「免疫不全症候群」の総称。エイズは「免疫不全症候群」の総称。

④ 性感染症が広がる原因を、男女別の視点から考えてみよう。

男性側の視点から見てみると、性感染症は「性」の行為によって感染する。男性は「性」の行為によって感染する。男性は「性」の行為によって感染する。	女性側の視点から見てみると、性感染症は「性」の行為によって感染する。女性は「性」の行為によって感染する。女性は「性」の行為によって感染する。
--	--

【学習到達】 本学の「性」の授業で、性感染症の予防と治療について学ぶ。性感染症は「性」の行為によって感染する。性感染症は「性」の行為によって感染する。性感染症は「性」の行為によって感染する。

性感染症の予防と治療について学ぶ。	性感染症は「性」の行為によって感染する。
-------------------	----------------------

授業プリント (前時)

【ディベートしてみよう！】

性交渉に欠かせないコンドーム、お金の負担は 男性？ それとも 誰の 몫？
 意見を述べてもらえたら、一か所として客観的に考えてみよう！

【男性負担！】	【お互いで割り勘！】
【自分の立場】	【自分の立場】
_____です。	_____です。
MEMO:	MEMO:

授業プリント (本時)

現代社会と健康 17 性感染症・エイズとその予防 (part-2)

【学習目標】 1. 性感染症・エイズに関する最新の情報を、適切に理解できるようにする。2. 性感染症・エイズに関する最新の情報を、適切に理解できるようにする。

④ 性ごとにディベートに際した準備をしよう！

【男性】	【女性】	【両性】
【ディベートのテーマ】 性交渉に欠かせないコンドーム、お金の負担は 男性？ それとも 誰の 몫？	【ディベートのテーマ】 性交渉に欠かせないコンドーム、お金の負担は 男性？ それとも 誰の 몫？	【ディベートのテーマ】 性交渉に欠かせないコンドーム、お金の負担は 男性？ それとも 誰の 몫？

⑤ ディベート活動のよう！

【準備タイム1】	【準備タイム2】
_____	_____
_____	_____

テーマ1 「パートナーが交際相手から性感染症に感染していることが分かった。あなたはそのパートナーと交際を続けるか？ それとも 別れるか？」

【ストーリー】
 高校1年生の男子高校生。入学生活で初めての彼女がいた。最近、彼女が性感染症に感染していることが分かった。彼は彼女と交際を続けるか？ それとも 別れるか？

あなたはそのパートナーと交際を続けるか？ それとも 別れるか？

テーマ2 「パートナーが交際相手からエイズに感染していることが分かった。あなたはそのパートナーと交際を続けるか？ それとも 別れるか？」

【ストーリー】
 高校2年生の女子高校生。入学生活で初めての彼氏がいた。最近、彼氏がエイズに感染していることが分かった。彼女は彼氏と交際を続けるか？ それとも 別れるか？

あなたはそのパートナーと交際を続けるか？ それとも 別れるか？

- 【ディベートのルールについて】
- それぞれの立場の観念の「主張（立論）」を述べる（1分ずつ）。
 - 相手の立場に対して、質問タイム（1分）後に答える（質疑）を求められる。
 - 相手の主張の観念（論理）がわからなければ質問タイムは1分ずつ。
 - 相手の主張の観念（論理）がわからなければ質問タイムは1分ずつ。
 - この時間は「質疑」または「主張」で発言を続けることになっている。
 - どちらかの質問タイムの満了があった場合は相手の質問は終了する。（1分以内）
 - 質疑の時間が終了した場合は、両チームともに「質疑」を続ける。

はじめに 概要 前時 当日 まとめ

【ディベートのテーマ】 性交渉に欠かせないコンドーム、お金の負担は 男性？ それとも 誰の 몫？

【準備タイム1】

【準備タイム2】

【質疑タイム】

【質疑タイム】

【質疑タイム】

【ディベートのテーマ】 性交渉に欠かせないコンドーム、お金の負担は 男性？ それとも 誰の 몫？

【準備タイム1】

【準備タイム2】

【質疑タイム】

【質疑タイム】

【質疑タイム】

本研究授業のまとめ

ディベートという活動を通じて、

☆性感染症・エイズについて理解が深まったか？

⇒ 知識

☆性感染症についてどのように説明することができたか

⇒ 思考・判断・表現

☆自身の考えを他者に積極的に伝えることができたか？

⇒ 学びに向かう力・人間性

本研究授業のまとめ

ディベートという活動を通じて

☆率先して役割を引き受けたか？

⇒ 「主体的」

☆メンバーとコミュニケーションが取れたか？

⇒ 「対話的」

☆より多くの情報を吸収できたか？

⇒ 「深い学び」

本研究授業のまとめ

- 「できない」「わからない」はNG
- 『否定』ではなく『受容』を大切に
- 論理的思考で他者に思い・考えを伝える



☆保健という科目で『人生』を伝え続ける！



御清聴
ありがとう
ございました！

進修館高校
110周年記念マスコット「れん」